



平成 30 年 度

地方創生の取組概要

説 明 資 料

豊岡市 政策調整部 地方創生課

地 方 創 生 の 取 組 概 要 （ 目 次 ）

I 平成30年度 地方創生の戦略体系	8
II 平成30年度 地方創生事業の手段別予算概要	10
III 平成30年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要	16

【戦略目的A】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
A01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている(情報発信)	
	01-01 様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	
	No.1 豊岡エキシビション 【継続】	18
	No.2 メディア・旅行エージェント招聘 【継続】	19
	01-02 WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている	
	No.3 移住定住促進プロモーション戦略 【継続】 (WEB広告・ポスター制作・プロモーション動画)	21
	No.4 Uターン就職情報発信 【継続】 (ジョブナビ豊岡・成人式を起点とする情報発信・就活応援ブック)	22
	01-03 豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	
	No.5 アーティスト・イン・レジデンス 【継続】	24
	再掲 (No.32) 豊岡市政策アドバイザー設置	
	再掲 (No.34) ディレクター等の配置(KIAC)	
	01-04 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
	No.6 企業研究会&交流会 【継続】	26
	No.7 合同企業説明会 【継続】	27
	No.8 企業向け採用支援事業 【新規】	28
	No.9 25歳同窓会 【継続】	29
	01-05 定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている	
	No.10 移住定住促進 【継続】 (ワンストップ窓口・現地案内人)	30
	No.11 豊岡移住相談会 【継続】 (移住フェア出展・移住相談会開催)	31
	No.12 飛んでるローカル豊岡編集部支援 【継続】	32
	No.13 豊岡市移住促進支援補助金 【新規】	33
A02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる(高付加価値・成熟化)	
	02-01 やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	
	No.14 革製鞆・革小物生産能力育成 【継続】	35

		No.15 靴UIターン促進 【新規】	36
		No.16 環境経済事業(販路拡大) 【継続】	38
		No.17 IT企業立地支援 【継続】	39
		No.18 企業立地事業者工場等賃借料補助金 【継続】	40
		No.19 企業立地促進条例による奨励金 【継続】	41
		No.20 豊岡市工業会ものづくりIT研究会支援 【継続】	42
		No.21 コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進 【継続】	42
		No.22 コウノトリ育むお米ブランド化推進 【継続】	44
		No.23 スマート農業推進事業 【新規】	45
	02-02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
		No.24 新規就農総合支援 【継続】	47
		No.25 豊岡農業スクール 【継続】	49
		No.26 靴縫製者トレーニング 【継続】	50
		No.27 空き店舗等開業支援補助金 【継続】	50
		No.28 創業支援事業 【拡大】	51
		No.29 豊岡稽古堂塾 【継続】	53
		No.30 Iターン就業者等シェアハウス整備推進 【継続】	54
		No.31 子育て中の女性の就労促進 【新規】	55
		No.32 豊岡市政策アドバイザー設置 【新規】	56
	02-03 多様な生き方を認め、人とつながり、支え合う人が増えている		
		— —	57
	02-04 自然とのつながりを楽しむ人が増えている		
		No.33 コウノトリ野生復帰推進 【拡大】	58
		再掲 (No.55) 子どもの野生復帰	
	02-05 自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
		No.34 ディレクター等の配置(KIAC) 【継続】	60
		No.35 文化芸術創造交流 【継続】 (Toyooka Art Season2018)	61
		No.36 文化芸術創造交流 【拡大】 (市民参加の演劇・演劇ワークショップ)	63
		No.37 芸術文化情報発信 【継続】	64

A03		No.38	永楽館歌舞伎【継続】	65
		No.39	芸術文化担当参与の設置【継続】	66
	02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている		
		No.40	城崎国際アートセンター自主事業【継続】	67
		No.41	文化と教育の先端自治体の連携【継続】	69
	A03 豊岡で人々が世界と出会っている(ローカル&グローバル)			
	03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
		No.42	外国人観光客プロモーション【継続】 (旅行博出展・海外情報発信拠点設置等)	70
		No.43	観光地マーケティング【継続】 (外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	72
		No.44	外国人観光客受入体制整備事業【継続】	73
	No.45	夢但馬周遊バス運営【継続】	74	
	No.46	但馬空港利用促進【継続】	76	
	No.47	東京直行便実現【継続】	77	
	No.48	城崎温泉街交通環境改善【継続】	78	
	No.49	円山川沿線サイクリングロード整備【継続】	79	
	03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている		
		No.50	コウノトリ育むお米海外販売推進【拡大】	80
		再掲	(No.5) アーティスト・イン・レジデンス	
	03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
		No.51	専門職大学の誘致【継続】	82
		No.52	アーティスト・クリエイター移住促進事業【新規】	83
	03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
		再掲	(No.42) 観光地マーケティング (外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	85
A04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている(次世代育成)			
	04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
		No.53	おっとりしゃ！とよおかのものづくり【継続】	86
		No.54	ふるさと教育推進【継続】	87
		No.55	子どもの野生復帰【継続】	88
		No.56	高校生Uターン意識向上戦略【継続】	89

	04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	
		再掲 (No.54) ふるさと教育推進	91
	04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	
		No.57 コミュニケーション教育推進 【継続】	92
		No.58 英語教育推進 【拡大】	93
		No.59 英語遊び保育推進 【継続】	94
		No.60 豊岡の未来を創る高校生支援 【継続】	95
	04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている	
		No.61 モンゴル交流推進 【継続】	97
		No.62 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催 【継続】	98
【戦略目的B】 多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている			
B01 若い夫婦の数が増えている			
	01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	
		No.1 婚活応援プロジェクト「はーとピー」・結婚相談所への補助 【拡大】	102
		No.2 民間団体への婚活・恋活イベント開催補助 【継続】	103
	01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
		再掲 (No.1) 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	
		No.3 ボランティア仲人養成 【拡大】	105
	01-03	若者が集い、交流する場が増えている	
		No.4 SNSを活用した出会いにつながる情報発信 【継続】	107
B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている			
	02-01	出産への応援がある	
		No.5 子育て世代包括支援センター 【継続】	109
		No.6 産前・産後サポート事業 【継続】	110
		No.7 産後ケア事業(宿泊型、訪問型) 【継続】	111
		No.8 特定不妊治療費助成・不育症治療費助成 【継続】	112
	02-02	育児への応援がある	
		再掲 (No.5) 子育て世代包括支援センター	
		No.9 ファミリーサポートセンター 【継続】	113
	02-03	仕事の両立への応援がある	
		再掲 (No.9) ファミリーサポートセンター	115

	02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある	
		No.10 子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか 【継続】	116
	02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	
		No.11 子育て広場整備 【継続】	118
		No.12 FMジャングル夢チャレンジ 【継続】	119
		No.13 子育てママの活躍機会促進事業 【新規】	120

I 平成30年度 地方創生の戦略体系

上位目的		豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的A		暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている（社会増）
主要手段－具体的手段		H30事業（※主以外に関連する項目がある場合、〔再掲〕で記載）
手段A 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）	
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	豊岡エキシビション、メディア・旅行エージェント招聘
01-02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている	移住定住促進プロモーション戦略（WEB広告・ポスター制作・プロモーション動画）、Uターン就職情報発信（ジョブナビ豊岡・成人式を起点とする情報発信・就活応援ブック）
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	アーティスト・イン・レジデンス、ディレクター等の配置（KIAC）〔再掲〕、豊岡市政策アドバイザー設置〔再掲〕
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	企業研究会＆交流会、合同企業説明会、企業向け採用支援事業、25歳同窓会
01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている	移住定住促進（ワンストップ窓口・現地案内人）、豊岡移住相談会（合同移住フェア出展・移住相談会開催）、飛んでるローカル豊岡編集部支援、豊岡市移住促進支援補助金
手段A 02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）	
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	革製靴・革小物生産能力育成、靴Uターン促進、環境経済事業（販路拡大）、IT企業立地支援、企業立地事業者工場等賃借料補助金、企業立地促進条例による奨励金、豊岡市工業会ものづくりIT研究会支援（※）、コウトリ育む農法無農薬栽培の推進、コウトリ育むお米ブランド化推進、スマート農業推進事業
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	新規就農総合支援、豊岡農業スクール、靴縫製者トレーニング（※）、空き店舗等開業支援補助金、創業支援事業、豊岡稽古堂塾、Uターン就業者等シェアハウス整備推進、子育て中の女性の就労促進、豊岡市政策アドバイザー設置
02-03	多様な生き方を認め、人とつながり、支え合う人が増えている	—
02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	コウトリ野生復帰推進、子どもの野生復帰〔再掲〕
02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	ディレクター等の配置（KIAC）、文化芸術創造交流（Toyooka Art Season2018）、文化芸術創造交流（市民参加の演劇・演劇ワークショップ）、芸術文化情報発信、永楽館歌舞伎、芸術文化担当参与の設置
02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	城崎国際アートセンター自主事業、文化と教育の先端自治体の連携
手段A 03	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）	
03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	外国人観光客プロモーション（旅行博出展、海外情報発信拠点設置等）、観光地マーケティング（外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか）、外国人観光客受入体制整備事業、夢但馬周遊バス運営、但馬空港利用促進、東京直行便実現、城崎温泉街交通環境改善、円山川沿線サイクリングロード整備
03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウトリ育むお米海外販売推進、アーティスト・イン・レジデンス〔再掲〕
03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	専門職大学の誘致、アーティスト・クリエイター移住促進事業
03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	観光地マーケティング（外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか）〔再掲〕
手段A 04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	
04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	おっとりっしょ！とよおかのものづくり、ふるさと教育推進、子どもの野生復帰、高校生Uターン意識向上戦略
04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	ふるさと教育推進〔再掲〕
04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、英語遊び保育推進、豊岡の未来を創る高校生支援
04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている	モンゴル交流推進、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催

（※）は、市の予算を伴わないもの

I 平成30年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的B	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている（自然増）	
	主要手段－具体的手段	H30事業（*関連する項目がある場合、〔再掲〕で記載）
手段B 01	若い夫婦の数が増えている	
01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	婚活応援プロジェクト「はーとピー」・結婚相談所への補助、民間団体への婚活・恋愛イベント開催補助
01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充〔再掲〕、ボランティア仲人養成
01-03	若者が集い、交流する場が増えている	SNSを活用した出会いにつながる情報発信
手段B 02	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	
02-01	出産への応援がある	子育て世代包括支援センター、産前・産後サポート事業、産後ケア事業（宿泊型、訪問型）、特定不妊治療費助成・不育症治療費助成
02-02	育児への応援がある	子育て世代包括支援センター〔再掲〕、ファミリーサポートセンター
02-03	仕事の両立への応援がある	ファミリーサポートセンター〔再掲〕
02-04	パートナーの応援（理解と協働）がある	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか
02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	子育て広場整備、FMジャングル夢チャレンジ、子育てママの活躍機会促進事業

Ⅱ 平成30年度 地方創生事業の手段別予算概要

【戦略目的A】

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
【A-01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）	01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている
	02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている
	03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる
	04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている
01手段小計（13事業） ※再掲は除く		
【A-02】 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）	01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている
	02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03	多様な生き方を認め、人とつながり、支え合う人が増えている
	04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている
	05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている
	06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている
02手段小計（28事業） ※再掲は除く		

（単位：千円）

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	豊岡エキシビジョン	5,172	大交流課
2	メディア・旅行エージェント招聘(※)	3,017	大交流課
3	移住定住促進プロモーション戦略（WEB広告・ポスター制作・プロモーション動画）	13,572	ICOA*レ推進課
4	Uターン就職情報発信（ジョブナビ豊岡・成人式を起点とする情報発信・就活応援ブック）	4,815	ICOA*レ推進課
5	アーティスト・イン・レジデンス	13,021	大交流課
【再掲】	(No.34) ディレクター等の配置（KIAC）	—	—
【再掲】	(No.32) 豊岡市政策アドバイザー設置	—	大交流課
6	企業研究会＆交流会	2,920	ICOA*レ推進課
7	合同企業説明会	4,707	ICOA*レ推進課
8	企業向け採用支援事業	2,296	ICOA*レ推進課
9	25歳同窓会	2,117	ICOA*レ推進課
10	移住定住促進（ワンストップ窓口・現地案内人）	2,107	ICOA*レ推進課
11	豊岡移住相談会（合同移住フェア出展・移住相談会開催）	3,786	ICOA*レ推進課
12	飛んでるローカル豊岡編集部支援	8,688	ICOA*レ推進課
13	豊岡市移住促進支援補助金	300	ICOA*レ推進課
		66,518	
14	革製靴・革小物生産能力育成	13,050	ICOA*レ推進課
15	靴Uターン促進(※)	2,200	ICOA*レ推進課
16	環境経済事業（販路拡大）	2,200	ICOA*レ推進課
17	IT企業立地支援	4,638	ICOA*レ推進課
18	企業立地事業者工場等賃借料補助金	1,900	ICOA*レ推進課
19	企業立地促進条例による奨励金	26,343	ICOA*レ推進課
20	豊岡市工業会ものづくりIT研究会支援(※)	—	—
21	コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進	28,658	農林水産課
22	コウノトリ育むお米ブランド化推進	8,156	農林水産課
23	スマート農業推進事業	10,534	農林水産課
24	新規就農総合支援	28,568	農林水産課
25	豊岡農業スクール(※)	14,390	農林水産課
26	靴縫製者トレーニング(※)	—	—
27	空き店舗等開業支援補助金	13,000	ICOA*レ推進課
28	創業支援事業	6,746	ICOA*レ推進課
29	豊岡稽古堂塾	3,035	ICOA*レ推進課
30	Uターン就業者等シェアハウス整備推進	6,000	ICOA*レ推進課
31	子育て中の女性の就労促進	4,548	ICOA*レ推進課
32	政策アドバイザー設置	6,289	大交流課
—	—	—	—
33	コウノトリ野生復帰推進	6,933	コウノトリ共生課
【再掲】	(No.55) 子どもの野生復帰	—	—
34	ディレクター等の配置（KIAC）	19,351	大交流課
35	文化芸術創造交流（Toyooka Art Season2018）	12,572	文化振興課
36	文化芸術創造交流（市民参加の演劇・演劇ワークショップ）	15,811	生涯学習課
37	芸術文化情報発信	1,414	大交流課
38	永楽館歌舞伎	73,044	出石振興局
39	芸術文化担当参与の設置	2,400	文化振興課
40	城崎国際アートセンター自主事業	10,717	大交流課
41	文化と教育の先端自治体の連携	1,928	大交流課
		324,425	

【A-03】 豊岡で人々が世界と出会っている (ローカル＆グローバル)	01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
03手段小計（11事業） ※再掲は除く		
【A-04】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる
	04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている
04手段小計（10事業） ※再掲は除く		
H30戦略目的A（62事業） 合計		
※参考：H29戦略目的A（59事業） 合計		

42	外国人観光客プロモーション（旅行博出展・海外情報発信拠点設置等）	26,641	大交流課
43	観光地マーケティング（外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか）	40,002	大交流課
44	外国人観光客受入体制整備事業	13,474	大交流課
45	夢但馬周遊バス運営(※)	2,347	大交流課
46	但馬空港利用促進	11,340	都市整備課
47	東京直行便実現	84,660	都市整備課
48	城崎温泉街交通環境改善	5,190	建設課
49	円山川沿線サイクリングロード整備	4,400	建設課
50	コウノトリ育むお米海外販売推進	11,220	農林水産課
【再掲】	(No.5) アーティスト・イン・レジデンス	—	—
51	専門職大学の誘致	9,874	大交流課
52	アーティスト・クリエイター移住促進事業	921	ICoP'レ推進課
【再掲】	(No.43) 観光地マーケティング（外国人のデータ収集、分析、専門人材の配置ほか）	—	—
		210,069	
53	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり(※)	400	ICoP'レ推進課
54	ふるさと教育推進	3,558	こども教育課
55	子どもの野生復帰	11,037	生涯学習課
56	高校生Uターン意識向上戦略	1,237	ICoP'レ推進課
【再掲】	(No.54) ふるさと教育	—	—
57	コミュニケーション教育推進	1,126	こども教育課
58	英語教育推進	33,559	こども教育課
59	英語遊び保育推進	13,926	こども育成課
60	豊岡の未来を創る高校生支援	2,150	こども教育課
61	モンゴル交流推進	2,350	文化振興課
62	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(※)	8,143	生涯学習課
		77,486	
		678,498	
		(691,432)	

(※)は市以外の団体の主催事業

【戦略目的B】

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
【B-01】 若い夫婦の数が増えている	01	多種多様な出会いの機会が充実している
	02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
	03	若者が集い、交流する場が増えている
01手段小計（4事業） ※再掲は除く		
【B-02】 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	01	出産への応援がある
	02	育児への応援がある
	03	仕事の両立への応援がある
	04	パートナーの応援（理解と協働）がある
	05	まちを挙げた子育てへの応援がある
02手段小計（9事業） ※再掲は除く		
H30戦略目的B（13事業） 合計		
※参考：H29戦略目的B（9事業） 合計		

H30地方創生（75事業） 総計
※参考：H29地方創生（68事業） 総計

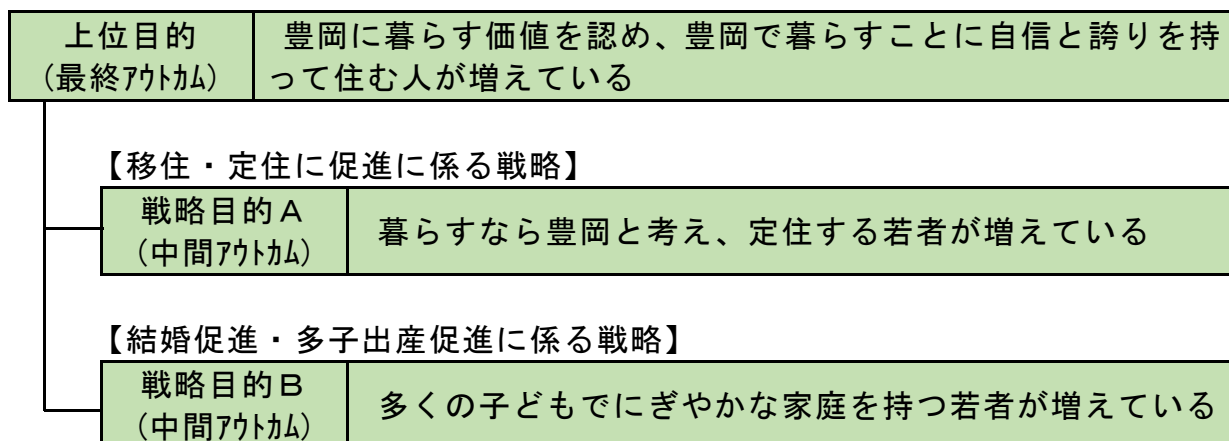
（単位：千円）

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	婚活応援プロジェクト「はーとビー」・結婚相談所への補助	8,278	ハートリーフ戦略室
2	民間団体への婚活・恋活イベント開催補助	600	ハートリーフ戦略室
【再掲】	(No.1) 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	—	
3	ボランティア仲人養成	1,267	ハートリーフ戦略室
4	SNSを活用した出会いにつながる情報発信	1,200	ハートリーフ戦略室
		11,345	
5	子育て世代包括支援センター	1,258	健康増進課
6	産前・産後サポート事業	2,153	健康増進課
7	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	4,170	健康増進課
8	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	18,200	健康増進課
【再掲】	(No.5) 子育て世代包括支援センター	—	健康増進課
9	ファミリーサポートセンター	1,077	こども育成課
【再掲】	(No.9) ファミリーサポートセンター	—	—
10	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか	12,829	こども育成課
11	子育て広場整備	7,106	ハートリーフ戦略室
12	F Mジャングル夢チャレンジ	810	こども育成課
13	子育てママの活躍機会促進事業	457	ハートリーフ戦略室
		48,060	
		59,405	
		(54,582)	

	737,903	*対前年比 98.9%
	(746,014)	

Ⅲ 平成 30 年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要

■ 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）



「上位目的」（※最終アウトカム：本戦略において長期的に実現したい状態）を実現するために、戦略 A 「移住・定住に促進に係る戦略」及び戦略 B 「結婚促進・多子出産促進に係る戦略」それぞれに戦略目的（※中間アウトカム：当面 5 年間程度で達成したい状態）を定め、二つの戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この二つの戦略目的に、それぞれ主要手段（2 桁）と、その主要手段を実現するための具体的手段（4 桁）を定め、その下に具体的な取組を配置している。

【2040 年の豊岡市の目標人口 ⇒ 62,165 人】

○ 政策目標

- 1 若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）
 - ・ 2015 年「35%」⇒ 2025 年までに「50%」に引き上げる
- 2 合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）
 - ・ 2015 年「1.82 人」⇒ 2035 年までに「2.3 人」に引き上げる

（参考：若者回復率 ～2010 年国勢調査時と 2015 年国勢調査時の比較～）

	2010 年国勢調査 (2005→2010 年)		2015 年国勢調査 (2010→2015 年)	
・ 全体	34.2%	→	39.5%	(+ 5.3 ポイント)
・ 男	34.7%	→	52.2%	(+ 17.5 ポイント)
・ 女	33.4%	→	26.7%	(△ 6.7 ポイント)

移住・定住促進に係る戦略

【戦略目的 A】

暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が
増えている

○ 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市」＝「豊岡で世界と出会う」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。

次ページ以降、「戦略目的 A」の戦略体系に基づく平成 30 年度地方創生取組を掲載

具体的 手 段	A 01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	30 年度 予算額	8,189 千円
------------	------------	-----------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
1	豊岡エキシビション	5,172 千円	継続
2	メディア・旅行エージェント招聘	3,017 千円	継続
合計		8,189 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている		
No.1	事業名	豊岡エキシビション	30 年度 予算額	5,172 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力がテレビ・雑誌・WEB サイト等のメディアに取り上げられること（外部視点による豊岡の魅力の高い評価）で、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- テレビ・雑誌・WEB サイト等の媒体で、豊岡の魅力（取組み・文化等）を紹介していただくため、メディアやインフルエンサーとのつながりを強め、また、新たなつながりをつくることを目的に、情報発信拠点である首都圏において市を紹介するイベントを開催し、市内の取材や媒体掲載につなげる。

- ※ インフルエンサー：有名人やスポーツ選手、有名ブロガーのように、自身のブログや SNS、メディアへの露出などで商品やサービスを紹介することで、大多数の消費者に大きな影響力を発揮するキーパーソン。

1 事業内容

東京都内において、市の取組みをターゲットに直接紹介する。さらに、発信力を持つメディア・インフルエンサー等とのこれまでのつながりを強め、新たなメディアとのつながりをつくる場として開催する。

- (1) 時期
未定
- (2) 期間
1 日

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

- (3) 場所
東京都内
- (4) ターゲット
雑誌・WEB・TV 等の媒体をもつメディア、
インフルエンサー、企業



平成 29 年度豊岡エキシビション 2017 の様子

2 事業期間

平成 22 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,172 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている			
No.2	事業名	メディア・旅行エージェント 招聘	30 年度 予算額	3,017 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力がテレビ・雑誌・WEB サイト等のメディアに取り上げられること（外部視点による豊岡の魅力の高い評価）で、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェント等を招聘し、市の取組みや観光素材を取材していただきメディア等への露出や観光商品造成につなげる。

※ インフルエンサー：有名人やスポーツ選手、有名ブロガーのように、自身のブログや SNS、メディアへの露出などで商品やサービスを紹介することで、大多数の消費者に大きな影響力を発揮するキーパーソン。

1 事業内容

豊岡市の取組み・観光地への取材とメディア掲載を増やすため、招聘者の取材地までの経費負担（宿泊費・交通費実費相当額）、取材先調整、取材同行を実施する。

2 事業期間

平成 27 年度～

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

3 事業主体

豊岡ツーリズム協議会（大交流課内）

4 予算額（補助率・負担率等）

3,017 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的 手 段	A 01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有 されている	30 年度 予算額	18,387 千円
------------	------------	-------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
3	移住定住促進プロモーション戦略 (WEB 広告・ポスター制作・プロモーション動画)	13,572 千円	継続
4	U ターン就職情報発信 (ジョブナビ 豊岡・成人式を起点とする情報発信・就活応援ブック)	4,815 千円	継続
合計		18,387 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている		
No.3 事業名	移住定住促進プロモーション 戦略 (WEB 広告・ポスター制作・プロモーション動画)	30 年度 予算額	13,572 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住促進プロモーションを継続して行うことで、市外の方への認知・興味の拡大が図れている。市民と協働して豊岡の暮らしの魅力を発信することにより、市民も一緒に U I ターンを促進している意識が醸成されている。

《事業目的（趣旨）》

- 都市部に住む 20～40 代と市内高校生を含めた若年層をターゲットに、プロモーションツールを活用した情報発信を市民と協働して行う。

1 事業内容

豊岡を巣立つ若者に対して、高校卒業時期に「卒業、おめでとう。飛んでいけ」という応援メッセージを送る。応援メッセージは、市民が出演するポスターとして制作し、市内各所に貼り出すことで、まちをあげて若者を応援している姿勢を示す。また、豊岡を巣立つ若者にスポットを当てたドキュメンタリー動画を制作する。

2 事業期間

平成 28 年度～平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

4 予算額（補助率・負担率等）

13,572 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている		
No.4	事業名	Uターン就職情報発信 (「ジョブナビ豊岡」・成人式を起点とする情報発信・就活応援ブック)	30 年度 予算額	4,815 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡で働くことの魅力や、やりがいある仕事情報が伝わり Uターン就職する若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 就活イベントや成人式など様々な機会を利用して対象者とのつながりを作り、豊岡で働く魅力や、やりがいある仕事、地元就職のメリット等の情報発信を「ジョブナビ豊岡」を中心として行い、Uターン就職へつなげる。

1 事業内容

(1) ジョブナビ豊岡の運営【2,044 千円】

市内企業の求職情報や豊岡で働く魅力、地元就職のメリットなどを発信する。

- ・ 新規ユーザー獲得のための SNS を活用した広告
- ・ 定期的なアクセス解析と改善、保守管理
- ・ 新規ページの追加（特集ページなど）

(2) 成人式を起点とした情報発信【729 千円】

- ・ 成人式において豊岡の若者とつながりを作るイベントを実施する。

(3) 就活応援ブック【2,042 千円】

企業情報、地元就職の良さなどを紹介。また、企業研究会、企業説明会の告知を行う。

2 事業期間

平成 28 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,815 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

具体的 手 段	A 01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中に いる	30 年度 予算額	13,021 千円
------------	------------	-----------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
5	アーティスト・イン・レジデンス	13,021 千円	継続
再掲	(No.32) 豊岡市政策アドバイザー設置	(6,289 千円)	新規
再掲	(No.34) ディレクターの配置 (K I A C)	(19,352 千円)	継続
合計		13,021 千円	

※再掲は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる		
No.5	事業名	アーティスト・イン・レジデンス	30 年度 予算額	13,021 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

- 選考によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡の観光大使となり、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。
また、滞在中には、制作作品の試演会やワークショップ、トークショーなどの「地域交流プログラム」を無料で実施し、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。

1 事業内容

- (1) 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考【1,363 千円】
- (2) 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」事業PR【4,043 千円】
- (3) 舞台操作等レジデンス支援【7,615 千円】

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体 豊岡市



アルディッティ弦楽四重奏団(音楽)×白井剛(ダンス)『クセナキス解体新書』試演会 2017年6月
©igaki photo studio



ダニエル・コック（ディスコダンサー）&清水美帆『Жhe（ジー）』成果発表上演後のトーク 2017年4月
©igaki photo studio

4 予算額（補助率・負担率等）

13,021 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（参考）

アーティスト・イン・レジデンス実績

- H28 年度
 - ・ 応募数 40 団体（13 カ国）
 - ・ 選考 17 団体（7 カ国）
- H29 年度
 - ・ 応募数 43 団体（8 カ国）
 - ・ 選考 20 団体（5 カ国）
- H30 年度
 - ・ 応募数 94 団体（25 カ国）
 - ・ 選考 16 団体（8 カ国）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（内線 32-3888）

具体的 手 段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつ ながっている	30 年度 予算額	12,040 千円
------------	------------	---------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
6	企業研究会 & 交流会	2,920 千円	継続
7	合同企業説明会	4,707 千円	継続
8	企業向け採用支援事業	2,296 千円	新規
9	25 歳同窓会	2,117 千円	継続
合計		12,040 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
No.6	事業名 企業研究会 & 交流会	30 年度 予算額 2,920 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- Uターン希望者が市内企業と出会い、豊岡で働く魅力や市内企業の魅力を感じて、豊岡へ戻ってくる。

《事業目的（趣旨）》

- 市内からの進学者が多い京阪神地域において、豊岡のまちの魅力や市内企業の魅力を発信し、就職先としての意識を豊岡に向け、Uターンを促す。

1 事業内容

特に就職・企業に対する意識が高まる大学3年生に対し、学生と市内企業との接点を増やすため、企業研究会及び交流会を京阪神地域で開催。市内企業の魅力や豊岡でしかできない仕事、豊岡で働く魅力などを発信する。

- ・ 市内企業 30 社の出展による企業研究会の開催
- ・ 人事担当者や先輩社員と語る交流会の開催

2 事業期間

平成 27 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,920 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No.7	事業名	合同企業説明会	30 年度 予算額	4,707 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- Uターン希望者が市内企業と出会い、豊岡で働く魅力や市内企業の魅力を感じて、豊岡へ戻ってくる。

《事業目的（趣旨）》

- 市内からの進学者が多い京阪神地域において、市内企業の魅力や働く魅力を伝え、市内企業とのマッチングを図りUターン促進をする。
市内企業を知る機会を提供することで企業の魅力に触れ、企業を知ってもらい、採用へと繋げていく。

1 事業内容

合同企業説明会の開催

- ・ 市内企業 30 社程度を集めた合同説明会を大阪市内で開催。

2 事業期間

平成 26 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

6 予算額（補助率・負担率等）

4,707 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No.8	事業名	企業向け採用支援事業	30 年度 予算額	2,296 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 市内企業各社の採用力を高めることで、Uターン希望者が魅力を知り、市内企業へUターン就職している。

《事業目的（趣旨）》

- 企業ごとの強みや魅力を活かした採用活動が行えるよう、市内企業を対象に課題や問題点の分析、採用戦略の策定に対する支援を行い、確実に採用に結び付くことでUターン就職を促す。

1 事業内容

企業ごとの現状把握を行い、採用活動の時期に合せたアプローチ方法や、内定辞退防止対策等の提案やサポート、検証、次年度に向けた採用戦略の策定の個別支援を行う。

- ・ 支援対象：市内企業 18 社

2 事業期間

平成 30 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,296 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No.9	事業名	25 歳同窓会	30 年度 予算額	2,117 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡にゆかりのある 25 歳が、同級生に豊岡の価値や仕事、暮らしの様子を発信し、豊岡の良さを再認識させている。また、市内外の同級生間の結びつきが強くなり、将来的な U ターンにつながっている。

《事業目的（趣旨）》

- 25 歳の若者に豊岡の暮らし・仕事等の価値を伝えるとともに、市内外の 25 歳同士の結びつきを強め、ふるさとの良さを再認識してもらい、地域の活性化に繋げる。

1 事業内容

参加対象となる 25 歳の若者で作る「実行委員会」が中心となり、同窓会開催に向けた企画や集客広報を行う。

（25 歳同窓会開催概要）

- ・ 対 象 市内高校等を卒業した平成 5 年 4 月 2 日～平成 6 年 4 月 1 日
生まれの者
- ・ 開催時期 平成 30 年 12 月末（予定）
- ・ 開催場所 豊岡市内
- ・ その他 同窓会に係る飲食費は参加者負担

2 事業期間

平成 29 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市
豊岡市 25 歳同窓会実行委員会



4 予算額（補助率・負担率等）

2,117 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

具体的 手 段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、 情報が提供されている	30 年度 予算額	14,881 千円
------------	------------	-------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
10	移住定住促進 (ワンストップ 窓口・現地案内人)	2,107 千円	継続
11	豊岡移住相談会 (合同移住フェア出展・移住相談会開催)	3,786 千円	継続
12	飛んでるローカル豊岡編集部支援	8,688 千円	継続
13	豊岡市移住促進支援補助金	300 千円	新規
合計		14,881 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている
No.10 事業名	移住定住促進 (ワンストップ 窓口・現地案内人)	30 年度 予算額 2,107 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する方々に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

- 移住前後のギャップやミスマッチを解消するとともに、生活等のリアルな情報提供や相談に対応するため、ワンストップ窓口や支援の仕組みづくり等の移住定住の受入体制を構築する。

1 事業内容

(1) ワンストップ窓口の充実【1,807 千円】

移住希望者への情報提供や地域、住まい、仕事等のコーディネートやマッチングを一括して実施する総合窓口の充実。

(2) 現地案内人制度【300 千円】

移住意向者への現地案内、地域紹介を行う現地案内人に対する支援。

2 事業期間

平成 28 年度～平成 31 年度

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
2,107 千円（地方創生推進交付金
補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
No.11 事業名	豊岡移住相談会 (合同移住フェア出展・移住相談会開催)	30 年度 予算額	3,786 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡を移住先として選び、相談に来る人が増え、効率的に情報を提供することができている。

《事業目的（趣旨）》

- 移住希望者が多数集まる大阪や東京の移住フェアに出展し、「最先端の豊岡の取組」の紹介や「仕事」、「住まい」、「教育」、「暮らし」に関する具体的な相談を実施し、豊岡への来訪や移住を促す。また、ターゲット層の一つである「教育移住志向」には、「コミュニケーション教育」等、豊岡ならではの教育を実際に体験してもらい、関心や興味を高め、豊岡への来訪や移住を促す。

1 事業内容

(1) 合同移住フェア出展【1,529 千円】

(出展予定)

- ①ふるさと回帰フェア（東京・大阪）
- ②JOIN移住フェア（東京）
- ③兵庫県主催移住フェア（東京・大阪）
- ④但馬ふるさとづくり協会主催移住フェア（大阪）
- ⑤産経新聞移住フェア（大阪）



(2) 移住相談会開催【2,257 千円】

(開催概要)

- ・ 場所 東京及び大阪（各 1 回）
- ・ 対象 都市部に住む子育て世帯
- ・ 内容（予定）



本市の「親子運動遊び」や、演劇的手法を用いた「コミュニケーション教育」

をテーマにした体験ワークショップを実施

2 事業期間

平成 28 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,786 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている			
No.12	事業名	飛んでるローカル豊岡編集部 支援	30 年度 予算額	8,688 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡での暮らしの価値や魅力を市民目線で伝える市民ライターが増え、移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」のメインコンテンツである記事の中で、豊岡の暮らしや教育、仕事等のリアルな情報が継続的に発信され、移住希望者の重要な情報源となっている。

さらに、市民ライターの中から移住者を支援する場が創出され、市民自らが移住を促している。

《事業目的（趣旨）》

- 市民ライターを中心とした編集部として、暮らしや教育、仕事等の定期的な投稿ができる体制をつくり、移住希望者の興味関心を引くとともに移住行動を促していく。

また、市民ライターと移住希望者、市民ライター同士の人のつながりをつくり、移住定住に対する支援の場を形成していく。

1 事業内容

飛んでるローカル豊岡編集部運営に関する業務を委託する。

- ア 編集会議の運営、市民ライターの増員等、運営体制に関する業務
- イ 取材、記事作成、記事の校正等、記事投稿に関する業務
- ウ Facebook、Instagram、Twitter、Google+等、SNS の運用に関する業務
- エ 移住促進冊子制作に関する業務

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

8,688 千円（地方創生推進交付金 補助率：
交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
No.13 事業名	豊岡市移住促進支援補助金	30 年度 予算額	300 千円	新規

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する方々に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

- 本市への移住を検討する者が、実際に本市を訪れ、本市を知り、体験して、移住への不安解消や移住後の暮らしのイメージを膨らませることにより、移住意欲を向上させ、移住を促進する。

1 事業内容

本市への移住を目的として住居若しくは仕事を探す活動又は市の文化、歴史、風土、気候等を知るための活動のために市を訪れる者が、市内に所在する宿泊施設を利用する際の宿泊費用の一部を補助する。

【補助率等】

- ・ 宿泊費用のうち、大人（13 歳以上の者をいう。）1 人 3,000 円、こども（12 歳以下の者をいう。）1 人 1,500 円を上限とする宿泊費用の一部。

※補助金の交付は、1 人につき一年度当り 4 泊を限度とする。

2 事業期間

平成 30 年度～平成 32 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

補助金 300 千円

5 その他

豊岡市移住促進支援補助金の創設に伴い、田舎暮らし体験施設（但東町中山）は廃止する。

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

具体的 手 段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	30 年度 予算額	97,679 千円
------------	------------	--------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
14	革製靴・革小物生産能力育成	13,050 千円	継続
15	靴 UI ターン促進	2,200 千円	新規
16	環境経済事業（販路拡大）	2,200 千円	継続
17	IT 企業立地支援	4,638 千円	継続
18	企業立地事業者工場等賃借料補助金	1,900 千円	継続
19	企業立地促進条例による奨励金	26,343 千円	継続
20	豊岡市工業会ものづくり IT 研究会支援	— 千円	継続
21	コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進	28,658 千円	継続
22	コウノトリ育むお米ブランド化推進	8,156 千円	継続
23	スマート農業推進事業	10,534 千円	新規
合計		97,679 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.14 事業名	革製靴・革小物生産能力育成	30 年度 予算額	13,050 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 靴産業を強化し、収益力を向上させることで、やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 革製靴・革小物の生産能力を習得する人材育成事業を行うことで、市内靴製造業者が新しい技術を活かした新事業への取り組みと新規の雇用を生み出す機会を創出する。

1 事業内容

専門技術を持つ講師による技術講習を実施し、革製鞆・財布等革小物を生産できる人材を育成する。

2 事業期間

平成 27 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

13,050 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



【革小物技術講習】



【試作品】

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.15	事業名	鞆 UI ターン促進	30 年度 予算額	2,200 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 鞆産業を強化し、収益力を向上させることで、やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 「「豊岡鞆」のブランド価値向上のための取組みを支援することで、「鞆と言えば豊岡」を国内外に認知させ、販路を確保することにより鞆産業の振興と地域経済の活性化を図る。

1 事業内容

兵庫県鞆工業組合が「豊岡鞆」ブランドの価値向上のために実施する事業に対し

て補助金により支援を行う。

具体的な事業は、鞆の素材に井原デニムを使用することによる商品価値の向上や眼鏡産地鯖江のチタン加工技術を活用した新商品開発等、豊岡鞆ブランドの一商品としての豊岡財布の商品開発及び量産化の検討、インターネット販売、国内外での販路開拓（特に香港などアジア諸国での販路の開拓を検討）、生産性を向上させるための AI や IoT 化を含む環境整備の検討などを行う。

2 事業期間

平成 19 年度～平成 30 年度

3 事業主体

兵庫県鞆工業組合

4 予算額（補助率・負担率等）

2,200 千円



【豊岡鞆】

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301 ）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.16	事業名	環境経済事業（販路拡大）	30 年度 予算額	2,200 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 環境経済事業（※）の売上げが増加することで、やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている。

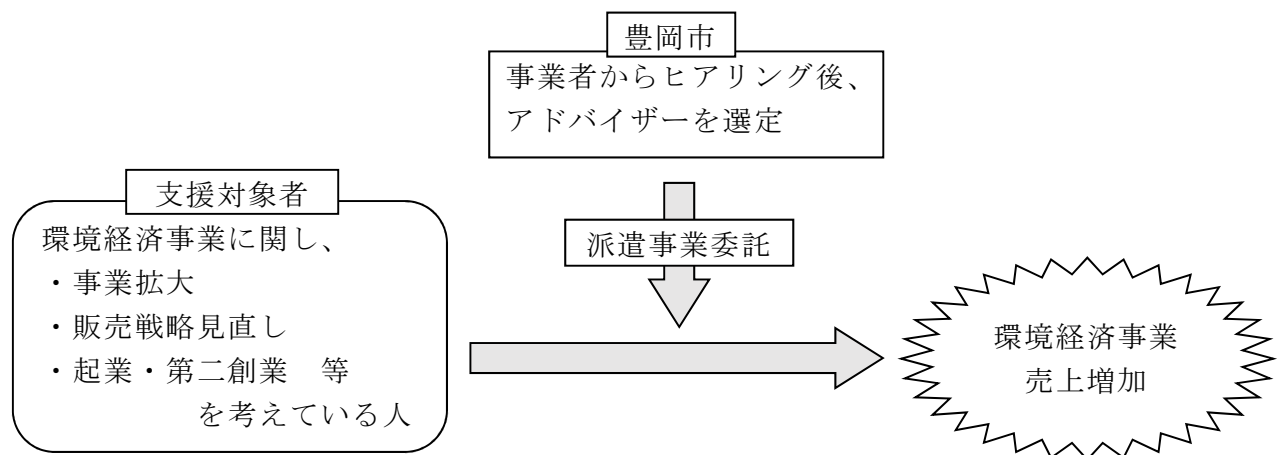
（※）環境を良くする事業活動で利益を生むもの

《事業目的（趣旨）》

- 環境と経済の共鳴を広げるため、環境経済事業の創出を促すとともに、販路拡大を支援することにより、環境経済事業の売上げ増加を図る。

1 事業内容

アドバイザーを招聘し、スタートアップ・経営・販路拡大などの支援を行う。



2 事業期間

平成 27 年度～平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,200 千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.17	事業名	IT 企業立地支援	30 年度 予算額	4,638 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、U I ターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- I T 関連企業の立地優遇制度と合わせて豊岡の魅力を伝えることにより、I T 関連企業の誘致の推進を図る。

1 事業内容

市内の空き店舗等を活用し、豊岡市内に新たに I T 関連の事業所を開設する事業者に補助金の交付を行う。

(1) 対象経費

- ①賃借料、②通信回線使用料、③建物改修費、④事務機器取得費、
⑤開設費、⑥人材育成費

(2) 補助率

- ・ 指定事業者 … 補助対象事業費の 1/2
・ 指定事業者以外… 補助対象事業費の 1/4

(3) 限度額

- ①及び②は 60 万円/年、③は 150 万円、④及び⑤は 50 万円、
⑥は 20 万円/人

(4) 期間

- ①及び②は 3 年間、③及び④は開設時 1 回、⑤は事業開始 1 年前～事業開始の日、⑥は事業開始 1 年前～事業開始 1 年後

2 事業期間

平成 28 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,638 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.18	事業名	企業立地事業者工場等賃借料補助金	30 年度 予算額	1,900 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 若者が UI ターンして働きたいと思える企業が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 企業の都市部からの地方移転、国外工場の国内回帰の動き、市内企業の新規投資に対応すべく、土地、建物等の賃借料の一部を補助し、企業立地を促進する。

1 事業内容

事業者が、土地、建物又は機械設備を賃借して工場等を新增設する場合、又はオフィスビル等の建物を賃借して事務所、営業所等として利用する場合に賃借料の一部を補助する。

(1) 適用要件

- ・ 次のいずれかに該当するもの。
 - ア 豊岡市企業立地促進条例の規定に基づき指定を受けた指定事業者（投下固定資産総額 50,000 千円以上、常用従業員の新規雇用者数 1 人以上他）
 - イ 兵庫県のオフィス立地促進賃料補助金の要件を満たす事業者（常用従業員の新規雇用者数 6 人以上他）

(2) 補助内容

- ア 対象経費 土地、建物又は機械設備の賃借料
- イ 補助率 賃借料の 4 分の 1
- ウ 限度額 1,000 千円／年
- エ 期間 3 年間

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,900 千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.19	事業名	企業立地促進条例による奨励金	30 年度 予算額	26,343 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 企業誘致の推進により、産業基盤が強化され、雇用機会が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の地域特性を生かして環境経済型企業及び新たな経済的環境にふさわしい多様な産業の集積を促進する。

1 事業内容

指定事業者に対し、下記の奨励金の交付を行う。

(1) 雇用奨励金【3,900 千円】

- ・ 常用従業員の新規雇用者一人あたり 30 万円を交付（一人につき 1 回限り）
＜限度額＞対象となる 5 年度間の合計で 3,000 万円

(2) 工場等設置奨励金【22,443 千円】

ア 土地・家屋・償却資産を対象とする場合

- ・ 要件：次の①及び②に該当すること
 - ①常用従業員の新規雇用者が 3 人以上
 - ②土地又は建物を取得すること
- ・ 内容：操業開始の日以降において、当該工場等に新たに固定資産税が賦課されることとなった年度から 5 年度間における各年度の固定資産税の賦課額に相当する額

イ 償却資産のみを対象とする場合

- ・ 要件：次の①及び②に該当すること
 - ①常用従業員の新規雇用者が 1 人以上
 - ②投資する機械設備等（償却資産）の総額が 5,000 万円以上
- ・ 内容：当該工場等に新たに固定資産税が賦課されることとなった年度における固定資産税のうち償却資産の賦課額に相当する額

2 事業期間

平成 17 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

26,343 千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.20 事業名	豊岡市工業会ものづくり IT 研究会支援	30 年度 予算額	— 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- IT 技術の導入により会員企業のものづくり技術が向上し、競争力が強化している。

《事業目的（趣旨）》

- 会員企業の生産現場における課題を解決できる IT 技術の研究を行い、効果の期待できる IT 技術導入により生産性の向上を図る。

1 事業内容

豊岡市工業会会員企業が、IT 技術の導入による会員企業のものづくり技術の向上と競争力の強化を目指し、先進企業見学会、勉強会等を行う。

- (1) IT 技術導入による改善事例の紹介
- (2) IT 技術を導入して生産性が向上した実績のある先進企業の見学会
- (3) IT 企業等の協力による IT 技術のデモ及び意見交換会

2 事業期間

平成 29 年度～平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市工業会

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.21 事業名	コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進	30 年度 予算額	28,658 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により農村に子ども達の笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 市場評価の高いコウノトリ育む農法無農薬栽培の推進と、高付加価値品種「いのちの壺」の産地品種銘柄取得、栽培推進により農家所得の向上を目指す。

1 事業内容

- (1) 無農薬栽培推進支援事業【26,640 千円】

コウノトリ育む農法無農薬栽培の収量と品質の高位安定を目指し、平成 26 年

度から平成 28 年度に実証した「ポット成苗＋機械除草」の普及拡大を進めるため、専用機械の購入を支援する。

(2) 「いのちの壺」試験栽培事業【2,018 千円】

高付加価値品種「いのちの壺」の試験栽培 3 年目に取組み、産地品種銘柄の取得と当地域での収量と品質の向上に努める。

2 事業期間

平成 26 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

28,658 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



ポット成苗
初期育成が旺盛で、雑草に負けない



ポット苗専用田植機（上）と乗用型除草機（下）の導入により収量と品質の高位安定を目指す。

担当課名【農林水産課】（内線 2631）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.22 事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進	30 年度 予算額	8,156 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により農村に子どもたちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ野生復帰を核とした豊岡農業の情報発信を図り、市場経済に認められた真のブランド米としての確立を目指す。

1 事業内容

(1) 情報発信事業【5,386 千円】

消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、J A たちと協働し情報発信等を展開する。

(2) 「いのちの壺」ブランド化事業【2,770 千円】

高付加価値品種「いのちの壺」のブランド（品種）を確立するため、市場調査と商品開発を継続するとともに、販売に向けたプロモーションを行う。

2 事業期間

平成 24 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

8,156 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



兵庫県、J A たちと連携した店頭販売イベント（沖縄サンエー）



高付加価値品種「いのちの壺」

担当課名【農林水産課】（内線 2631）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.23	事業名	スマート農業推進事業	30 年度 予算額	10,534 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- ICT（情報技術）や IoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ育む農法の面積拡大と品質向上のため、センシング技術※¹ による生育初期の水管理の省力化と生産管理のデータ化を行う。また、水稻低コスト栽培技術の実証を行い、コスト削減による農家所得の向上を目指す。

※¹ センシング技術：センサー（感知器）などを使用してさまざまな情報を計測・数値化する技術の総称

1 事業内容

コウノトリ育む農法（無農薬）に取り組む農家は、特に 4 月から 6 月の間の水田水管理に多くの時間と労力を要している。このため、水位、水温及び地温のセンサーを水田に設置して、通信回線を介してスマートフォン等で確認できるようにすることにより、水管理の省力化について実証する。

また、田植え作業を省力化、低コスト化することにより農家所得が向上するよう、通常より種籾を多く播種して苗箱等の資材コストを低減する「高密度播種」、種籾を水田に直接点播し、育苗に係るコストを低減する「たんすいちょくは湛水直播」技術の実証を行う。

2 事業期間

平成 30 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,534 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【農林水産課】（内線 2631）

具体的 手 段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	30 年度 予算額	82,576 千円
------------	------------	-------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
24	新規就農総合支援	28,568 千円	継続
25	豊岡農業スクール	14,390 千円	継続
26	靴縫製者トレーニング	— 千円	継続
27	空き店舗等開業支援補助金	13,000 千円	継続
28	創業支援事業	6,746 千円	拡大
29	豊岡稽古堂塾	3,035 千円	継続
30	I ターン就業者等シェアハウス整備推進	6,000 千円	継続
31	子育て中の女性の就労促進	4,548 千円	新規
32	政策アドバイザー設置	6,289 千円	新規
合計		82,576 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
No.24 事業名	新規就農総合支援	30 年度 予算額 28,568 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業後継者を確保し、将来にわたり農業を持続可能な産業に結び付ける。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡で農業を頑張る若者に対し、園芸用ハウスや農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助により住居負担を軽減することで、地方創生の柱である若者の定住を推進する。また、短期の農業体験を通して田舎暮らしの魅力を伝え、将来

の移住・就農へ繋げる。この他にも、国の農業次世代人材投資事業を活用し、経営が不安定な就農直後（5 年以内）の所得を確保する資金を交付し、若者の農業への定着を図る。

1 事業内容

(1) 内容

① 若手農家支援事業

(ア) 園芸用ハウス整備費助成事業

- ・園芸用ハウス整備に係る資材費・施工費の 3 / 4 以内(上限 3,000 千円)を補助

(イ) 農業用機械等整備費助成事業

- ・農業用機械等の導入経費の 1 / 2 以内(上限 3,000 千円)を補助

(ウ) 住居費助成事業

- ・市外から転入し、市内の賃貸住宅に居住する新規就農者・豊岡農業スクール生に対し、家賃の 1 / 2 以内(上限 20 千円/月)を補助

② 豊岡農業体験事業

- ・豊岡農業を短期間体験できる場を提供

③ 農業次世代人材投資事業

- ・国の制度を活用し、1 年あたり最高 1,500 千円/人の資金を最長 5 年間交付する

4 事業期間

平成 27 年度～

5 事業主体

豊岡市

6 予算額（補助率・負担率等）

28,568 千円

(ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2)

(新規就農総合支援事業費補助金 補助率：10/10)



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.25	事業名	豊岡農業スクール	30年度 予算額	14,390 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業後継者を確保し、将来にわたり農業を持続可能な産業に結び付ける。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の農業は、新規就農者及び農業後継者の確保・育成が喫緊の課題であり、明日の農業の担い手を養成するため、就農意欲の高い若者に対して、円滑に就農するために必要な生産技術力、経営管理能力及び環境創造型農業等を「豊岡農業スクール」で習得させ、農業を持続可能な産業に結び付ける。

1 事業内容

市が就農意欲のある研修生（年5名）の募集と事前登録された認定農業者への派遣研修（最長3年）事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。

4 事業期間

平成25年度～

5 事業主体

豊岡市認定農業者連絡協議会

6 予算額（補助率・負担率等）

(1) 予算額

14,390 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

(2) 事業内容

認定農業者連絡協議会による新規研修生（年5名）の募集と事前登録された認定農業者への研修生（新規5名＋在学学生3名）の派遣研修。

【平成30年度事業委託 14,390 千円】

①研修生受入経費【研修生】	@100 千円/月×12 月×8 名	=	9,600 千円
②研修生受入経費【農家】	@ 25 千円/月×12 月×8 農家	=	2,400 千円
③臨時職員雇用（1 名）	@150 千円/月×12 月×1 名	=	1,800 千円
④研修生傷害保険（5 名分）	@ 10 千円/年×8 名	=	80 千円
⑤座学研修費	@ 15 千円/回×年 6 回	=	90 千円
⑥指導観察経費	@ 10 千円/月×12 月	=	120 千円
⑦情報発信（PR）拡充経費		=	300 千円



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.26	事業名	鞆縫製者トレーニング	30年度 予算額	— 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 鞆産業で働く若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 鞆製造の担い手を育成し、市内鞆企業で雇用・育成することで、鞆産業の振興及び保護と地域経済の活性化を図る。

1 事業内容

豊岡市縫製者育成組合が但馬技術大学校から委託を受け、「鞆縫製者トレーニング事業」を実施する。

- (1) 縫製技術の基礎学習
- (2) 縫製の実技訓練
- (3) 市内鞆製造企業でのインターン実習

2 事業期間

平成 25 年度～

3 事業主体

平成 25 年度～平成 28 年度 豊岡市
平成 29 年度～ 鞆縫製者トレーニングセンター(Toyooka K-site)

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.27	事業名	空き店舗等開業支援補助金	30年度 予算額	13,000 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 空き店舗等を活用して新たな事業にチャレンジする人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内の空き家、空き店舗、空き民宿等を活用して新規出店しようとする個人、又は法人に対して補助を行い、魅力ある店舗等の新規開業を促進することで地域経済の活性化を図るとともに、空き店舗等の増加を防ぐことを目的とする。
(UI ターン促進、就業・雇用の確保、起業促進、商店街の活性化)

1 事業内容

・ 開業資金補助金

市内にある空き店舗や空き家、空き民宿等を活用して出店する者に対して、予算の範囲内で店舗改修費及び販売促進費の一部を補助する。

(1) 対象業種

小売業、飲食サービス業（バー、キャバレー、ナイトクラブ、配達飲食サービス業を除く。）、生活関連サービス業及び宿泊業（旅館、ホテル、簡易宿泊所）で地域のにぎわいづくりに適したもの。

(2) 補助額

上限 1,000 千円（対象経費の 2 分の 1 以内）

※相談、申請の受け付けは豊岡商工会議所、又は豊岡市商工会で行う。

※申請者は審査会でプレゼンテーションを行う。

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

市、豊岡商工会議所、豊岡市商工会

4 予算額（補助率・負担率等）

13,000 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

〈内訳〉

- ・ 豊岡 10,000 千円（うち、3,000 千円はゼロ市債）
- ・ 日高 3,000 千円

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.28	事業名	創業支援事業	30 年度 予算額	6,746 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。また、多様な人々が出会い、交流することにより、新しいつながりや新しい事業が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者や女性が失敗を恐れず、新たな事業に挑戦できる環境を整備するため、豊岡市創業支援補助金を創設し、多様な創業を支援する。

さらに、創業を考えている人や創業して間もない人、また、法人、個人事業者、主婦など、多様な人が FLAP TOYOOKA に集まり、情報の交換や異業種の交流を通して、新たなつながりや新しい事業が生まれることを目指す。

1 事業内容

(1) 豊岡市創業支援補助金（新設）【5,000 千円】

市内で新たな事業に挑戦する若者（40 歳未満）や女性の創業を支援し、地域の産業振興と経済の活性化、新たな仕事を創出する。

- ・ 補 助 額 上限 50 万円（対象経費合計額の 2 分の 1 以内）
- ・ 対象経費 事務所等開設費、設備・備品等購入費、業務委託費、謝金、広告宣伝費、研修費

(2) 創業関連事業の実施（継続）【1,746 千円】

- ・ 場 所 FLAP TOYOOKA 他
- ・ 内 容 地域で活躍する方をゲストスピーカーに迎え、参加者と一体になって対話しながら、交流や新しいつながりの場を提供する『FLAP・つながる・SALON』の実施や、商工団体や金融機関、豊岡観光イノベーションと連携し、各々の強みと独自のネットワークを活かした取組みを行う。
- ・ 対 象 創業希望者、創業者など（市内外に広く周知）

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,746 千円

（地方創生推進交付金 補助率：
交付対象額の 1/2）



【FLAP・つながる・SALON】

担当課名 【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.29	事業名	豊岡稽古堂塾	30 年度 予算額	3,035 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 地域の課題や社会的な事業の展開に対し、官民一体となって考える機会をつくることにより、豊岡市の将来を担う人材が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 戦略的に考え、効果的に実行する力が身につく少人数制の講義を開催し、官民の枠を超えた交流を促進するとともに、ビジネスの新しい芽を創出させ、地域課題の解決や地域経済の活性化につなげる。

1 事業内容

ビジネスに不可欠な基本スキルや、マーケティング・会計・流通及びプロモーションの基礎などを、受講生同士が討論・議論しながら身につける。

- (1) 受講対象 民間及び市職員
- (2) 期間及び回数 5 月～12 月（全 15 回程度）
- (3) 定 員 20 名程度

2 事業期間

平成 26 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,035 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（参考）平成 29 年度実績（第 4 期）

- ・ 開催回数 全 16 回
- ・ 受講者数 24 名（民間 14 名、市職員 10 名）



↑ 講義風景（於：FLAP TOYOOKA）

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）



↑ 講義風景（於：豊岡稽古堂）



↑ 第4期生（修了式）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.30	事業名	I ターン就業者等シェアハウス整備推進	30 年度 予算額	6,000 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 若者の定住を促進することで、新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 企業等に就業するIターンした若者又は市内で就業することを目的としてIターンし、市内で学ぶ若者が低廉な家賃で居住するためのシェアハウスの整備に係る費用を補助することにより、若者の就労環境の向上を図る。

1 事業内容

シェアハウスの整備に係る必要経費に対して、補助金を交付する。

- (1) 対象者 空き家等の所有者
- (2) 補助率 2/3、上限1室100万円かつ1棟600万円

2 事業期間

平成28年度～平成30年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,000千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.31	事業名	子育て中の女性の就労促進	30 年度 予算額	4,548 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 現在働いていない主婦層の労働意欲を醸成することで、市内企業への就業が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 保育士を確保し、保育所の受入体制の充実を図るとともに、子育て中の女性が働きたい事業所、働きやすい勤務形態等を増やすことにより、子育て中の女性の就労を促進する。

1 事業内容

(1) 女性の就労支援（保育士資格を持つ人と保育所とのマッチングを含む）

- ・ 未就業中の女性の中から、保育士資格を有する人を掘り起こし、保育士不足に悩む保育所とのマッチングを図る。併せて、子育てをしながらの短時間勤務又は在宅勤務、復職の支援を行う。

保育士確保 ⇒ 保育所受入人数の増加 ⇒ 女性の就労機会拡大

- ・ 「保育所等の働く魅力向上支援事業（こども育成課）」により、保育士の短時間勤務や在宅勤務、IT 導入等による業務の効率化、残業の削減等をモデル園で試行する。この結果、保育所の業務改善が進み、働きやすい環境整備が推進されていることを伝え、保育士の確保に繋げる。
- ・ 適職診断ワークショップ（特技、資格等を確認し、スキルが生かせる職場とのマッチング）
- ・ 就労意欲醸成のための「働く」を考えるセミナー

(2) 企業を対象としたセミナーの開催

- ・ 未就業中の主婦層等が働きやすい少日数・短時間勤務の導入セミナー
- ・ 従業員満足度向上セミナー

(3) 企業と非労働者（主に未就業中の主婦層）とのマッチングイベントの開催

- ・ 未就業中の主婦層等が働きやすい勤務体系等を導入した企業と、働きたい市民とのマッチングイベントを開催

2 事業期間

平成 28 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,548 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【エコバレー推進課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.32	事業名	政策アドバイザー設置	30 年度 予算額	6,289 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 地域の課題を解決するための新たな事業や仕事にチャレンジする人が増え、その取組みが継続的に行われている。
- 統一・調和したデザインにより、まちの景観がつけられている。

《事業目的（趣旨）》

- 政策・施策を実施するにあたり、市政における重要課題など政策的事項又は専門的事項について、専門的知識や技術、経験などを有する方から指導、助言を受け、もって市政の発展を図るため、ポスト「地域プロデューサー」として豊岡市政策アドバイザーを設置する。

※地域プロデューサー：

各地域（合併前の各市町）の資源を生かし、住民が自主的・自立的に考え、実行する仕組みを構築するために配置した専門的知見を有する者又は団体で、住民とともに地域課題の解決策に取り組む者（平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間配置）。

1 事業内容

本市の政策・施策を推進するにあたり、具体的な課題に対し専門的立場から助言等を行う政策アドバイザー（*地域プロデューサーの経験者 2 名）を設置する。

<助言を求める分野>

- (1) ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスに関する分野
- (2) まちづくりにおけるデザイン全般に関する分野

2 事業期間

平成 30 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,289 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）

具体的 手 段	A 02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じ る人が増えている	30 年度 予算額	— 千円
------------	------------	------------------------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
—	* 該当事業無し	— 千円	
合計		— 千円	

具体的 手 段	A 02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	30 年度 予算額	6,933 千円
------------	------------	---------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
33	コウノトリ野生復帰推進	6,933 千円	拡大
再掲	(No.55) 子どもの野生復帰	(11,037 千円)	継続
合計		6,933 千円	

※再掲は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 02-04	自然とのつながりを楽しむ人が増えている
No.33 事業名	コウノトリ野生復帰推進	30 年度 予算額 6,933 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- コウノトリ野生復帰の取組みを理解している市民が増え、自然と共生する生活が定着する。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ野生復帰を通じた自然再生と地域再生の取組みを地域に深く根づかせるとともに、豊岡以外での取組みと連携し普及啓発を図る。

1 事業内容

(1) 情報発信【918 千円】

- ・ 各種媒体を活用した情報発信、ホームページの多言語化対応、繁殖映像配信など

(2) 普及啓発【2,718 千円】

- ・ 普及啓発パンフレットの増刷、啓発用グッズの作成など

(3) 連携・交流【1,772 千円】

- ・ 関係機関、コウノトリ飛来地自治体・住民団体との連携やネットワーク構築、日本コウノトリの会が実施する全国の飛来情報の見える化（ホームページで公開）の支援など

(4) 自然再生市民目標の設定【1,485 千円】 *新規

- ・ コウノトリ絶滅前文献データ抜粋作業、市民アンケートや有識者等による懇話会の開催による、意見交換や目標設定の実施など

(5) 野外コウノトリ対応【40 千円】

- ・ コウノトリの事故等への対応

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化）

2 事業期間

平成 14 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,933 千円

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

具体的 手 段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ 人が増えている	30 年度 予算額	124,592 千円
------------	------------	-----------------------------	--------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
34	ディレクター等の配置（K I A C）	19,351 千円	継続
35	文化芸術創造交流 (Toyooka Art Season2018)	12,572 千円	継続
36	文化芸術創造交流 (市民参加の演劇・演劇ワークショップ)	15,811 千円	拡大
37	芸術文化情報発信	1,414 千円	継続
38	永楽館歌舞伎	73,044 千円	継続
39	芸術文化担当参与の設置	2,400 千円	継続
合計		124,592 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.34	事業名	ディレクター等の配置（K I A C）	30 年度 予算額	19,351 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎国際アートセンターを芸術文化の国際的戦略拠点として位置付け、運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、引き続き専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の充実を図っていく。
- アーティスト・イン・レジデンス事業を始めとするさまざまな事業を効果的に展開し、市民に世界最先鋭のアートに触れる機会を提供することにより、豊岡で暮らすことの価値と魅力を創出する。

1 事業内容

引き続き、次の専門職を配置する。

- (1) 館長兼広報・マーケティングディレクター （嘱託職員） 田口 幹也 氏
- (2) プログラムディレクター （業務委託） 吉田雄一郎 氏
- (3) アートコーディネーター （任期付職員） 橋本 麻希 氏

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

19,351 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（内線 32-3888）

戦略・手段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.35	事業名	文化芸術創造交流 (Toyooka Art Season2018)	30 年度 予算額	12,572 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 文化芸術を身近に感じ、日々の暮らしの一部として親しむ市民が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 文化芸術事業の連携および事業を通じた多様な人材の交流や、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供することにより、市民が暮らしの豊かさを実感することを目指す。市内外に向けた情報発信を行い、事業の展開を通して「地方は貧しくて、つまらない」というイメージを払拭し、文化・芸術による地方創生の実現を図る。

1 事業内容

演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2018（豊岡アートシーズン 2018）」として展開し、市の文化芸術の魅力を内外に向け発信する。

<Toyooka Art Season 2018 の主要プログラム> ※（）内の日程は変更の可能性あり。

(1) 文化振興課【12,572 千円】

- ・ とよおかアート縁日（実施日未定）
- ・ 出石永楽館子ども歌舞伎ワークショップ（8 月上旬）
- ・ 青年団子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演（12 月）

(2) 豊岡市民会館（文化振興課）

- ・ おでかけ訪問コンサート（5・6 月、10・11 月）
- ・ 音楽レクチャー（年間）
- ・ 観世流能レクチャー（7 月）

(3) 生涯学習課

- ・子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭～おんぷの祭典～（6/5～10）

(4) 豊岡市民プラザ（生涯学習課）

- ・演劇プロジェクト 内藤裕敬と関西の俳優たち×市民演劇（8/23～9/9）
- ・長野県上田市姉妹都市高校生演劇交流事業（8/7～18）
- ・新作能「田道間守」豊岡公演と東京公演への豊岡のこどもたち出演事業（豊岡公演 8/22、東京公演 8/29）
- ・豊岡オリジナル・現代ダンス制作・公演（実施日未定）

(5) 城崎国際アートセンター（大交流課）

- ・『妖怪ショー!!』第二弾 『妖怪屋敷で妖怪ショー!!』（7/18、19、21、22）
- ・ツアー・パフォーマンス『Take Me To The River（仮）』（8/25、26）
- ・庭劇団ペニノ『笑顔の砦』（11/24、25）

2 事業期間

平成 28 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

全体事業費 52,240 千円

（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

（内訳）

- | | |
|--------------|---------------------------------------|
| ・文化振興課 | 12,572 千円 |
| ・豊岡市民会館 | 6,997 千円（市民会館等自主事業） |
| ・豊岡市民プラザ | 13,811 千円（No. 36 文化芸術創造交流 *事業費は抜粋） |
| ・城崎国際アートセンター | 10,717 千円（No. 40 城崎国際アートセンター自主事業） |
| ・生涯学習課 | 8,143 千円（No. 62 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催） |

担当課名【文化振興課】（内線 2771）

【生涯学習課】（内線 2741）

【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.36	事業名	文化芸術創造交流 (市民参加の演劇・演劇ワークショップ)	30 年度 予算額	15,811 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 一流の文化芸術活動を行う劇団や俳優を招聘し、市民（ターゲット：若者）を巻き込んだ文化芸術創造交流を行う。市民が豊岡で文化芸術活動に取り組むことで、市民の文化芸術への関心を高め、地域の文化芸術活動のレベルアップと活性化を図る。

1 事業内容

(1) 文化芸術創造交流事業【13,811 千円】

- ・ 豊岡市民プラザ演劇プロジェクト 内藤裕敬^{ひろのり}と関西の俳優たち×市民演劇
- ・ 長野県上田市（姉妹都市）との高校生演劇交流事業
- ・ 豊岡オリジナル・現代ダンス制作・公演
市民参加ワークショップとクリエイション
- ・ 新作能「田道間守」^{たじまもり} 豊岡公演と東京公演への豊岡のこどもたち出演事業

(2) （一財）地域創造助成事業【2,000 千円】

ア 中・高生アートチャレンジ！

2 事業期間

平成 28 年度～平成 32 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

15,811 千円

（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の 1/2 以内）



平成 29 年度演劇プロジェクト

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

戦略・手段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.37	事業名	芸術文化情報発信	30年度 予算額	1,414 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 芸術文化による「豊かな暮らし」を実現するため、市民への情報提供の充実や、様々な階層で参加可能なプログラムの実施など、日々の生活の中で芸術文化に触れる機会を提供する。

1 事業内容

(1) レクチャー&ワークショップの開催【886 千円】

介護や子育てといった日常的な関心ごとと舞台芸術を結びつけて活動しているアーティストを招き、舞台芸術やアートが日常生活にも活用できる可能性を提示する。

(2) 地域連携プログラムの実施【139 千円】

近隣市町・地域で活発に活動しているアーティスト活動関係団体等とワークショップ形式での情報交換を行い、専門職大学の開設と関連付けたアーティストの受入れ、専門家の活動の場の創出等をテーマにした連携強化を図る。

(3) 芸術文化情報放送【389 千円】

芸術文化全般に係る情報提供放送（エフエムたじま）

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市



KIAC ワークショップ・シリーズ
～生活にとり入れてみるアートの発想～
「障害と音楽」ワークショップ 2017 年 3 月

4 予算額（補助率・負担率等）

1,414 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（内線 32-3888）

戦略・手段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.38	事業名	永楽館歌舞伎	30 年度 予算額	73,044 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 多くの歌舞伎ファンが、恒例の行事として永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。また、わが町の歌舞伎公演として、多くの市民が公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

- 平成 20 年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を発揮できる活用策として、歌舞伎公演を継続して開催している。本年度も文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として「第 11 回永楽館歌舞伎」を開催する。

1 事業内容

- (1) 公演期間（予定）
平成 30 年 10 月 18 日（木）～24 日（水） 7 日間
- (2) 公演回数
13 回公演
- (3) 会 場
豊岡市立出石永楽館
- (4) 内 容
片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演。
- (5) 料 金
一般 12,000 円、学生 3,000 円^{※注}（全席指定席）

※注 学生料金の対象者は、市内在住または通学の小・中・高校の児童・生徒。

2 事業期間

平成 20 年度～

3 事業主体

豊岡市 永楽館歌舞伎実行委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

73,044 千円



第 10 回公演 写真提供：松竹(株)

担当課名【出石振興局 地域振興課】（内線 5607）

戦略・手段	A 02-05	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.39	事業名	芸術文化担当参与の設置	30 年度 予算額	2,400 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 文化芸術を身近に感じ、日々の暮らしの一部として親しむ市民が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 平田オリザ氏は、平成 27 年度に「芸術文化政策の基本戦略」や「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略のアドバイザーとして芸術文化担当参与に就任。地方創生総合戦略等の一層の推進を図るため、引き続き本市の文化芸術分野における様々な指導助言を受ける。

1 事業内容

- ・ 地方創生戦略等の推進
 - ア 地方創生戦略会議
 - 芸術文化政策による地方創生の推進（地方創生課）
 - イ 城崎国際アートセンターの芸術監督
 - メイドイン豊岡による舞台芸術の発信（大交流課）
 - ウ 専門職大学開設への助言（大交流課）
 - エ 文化芸術創造交流事業の推進
 - Toyooka Art Season による文化芸術の魅力を発信（文化振興課）
 - オ コミュニケーション教育推進事業（こども教育課）

2 事業期間 平成 27 年度～

3 事業主体 豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,400 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【文化振興課】（内線 2771）

具体的 手 段	A 02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	30 年度 予算額	12,645 千円
------------	------------	----------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
40	城崎国際アートセンター自主事業	10,717 千円	継続
41	文化と教育の先端自治体の連携	1,928 千円	継続
合計		12,645 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている
No.40 事業名	城崎国際アートセンター 自主事業	30 年度 予算額 10,717 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 最先端の舞台芸術を楽しむため、市内外から多様な人が集い、まちが賑わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 最先端の舞台芸術により芸術文化に親しんでいただく機会を提供することにより、市内外からの誘客を図り、関係人口を増やす。平成 30 年度においては、城崎以外の地域でのパフォーマンス・公演を計画している。

1 事業内容

以下の公演等を主催事業として実施する。

(1) 目黒大路『妖怪屋敷で妖怪ショー!!』【954 千円】

- ・ 作・演出・出演：目黒大路
- ・ 開催予定：7 月
- ・ 舞踏家・目黒大路による巡業型公演で、子どもから大人まで楽しめる夏にぴったりの作品。

(2) ツアーパフォーマンス『Take Me To The River(仮)』【5,213 千円】

- ・ 総合演出・監修：山田晋平
- ・ 開催予定：8 月
- ・ 北但大震災以降に建設された豊岡市街の復興建築群等を巡るツアー・パフォーマンスを創作。地域の文化資源を積極的にリサーチし、現代の舞台芸術と地域文化を緩やかに結びつける作品。

(3) 庭劇団ペニノ『笑顔の砦』【4,550 千円】

- ・ 作・演出：タニノクロウ
- ・ 開催予定：11 月
- ・ 演劇界の芥川賞といわれる岸田國士戯曲賞を受賞した劇作家・演出家タニノクロウ主宰の庭劇団ペニノによる話題作。田舎の漁村にあるアパートの住人たちの人情ドラマ。

(4) レジデンス・アーティストによる地域交流プログラムやワークショップ等の実施。

＊(1)～(3)は、文化庁の文化芸術振興費補助金申請対象事業

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,717 千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の 1/2 以内）



世田谷シルク+テアター・セサム
『ふしぎな影』豊岡公演 2017 年
11 月 ©igaki photo studio



テアトロ・ムジーク・インプロヴィ
ーズ『うつくしいまち』
美術ワークショップ「ダリオさん
とお絵描きしよう！」2017 年 7 月

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（内線 32-3888）

戦略・手段	A 02-06	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている		
No.41 事業名	文化と教育の先端自治体の連携	30 年度 予算額	1,928 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 文化・芸術・教育に関心の高い若者や子育て世代が、豊岡に魅力感じている。

《事業目的（趣旨）》

- 文化や教育による先端的なまちづくりを進めている自治体が連携し、互いの強みを磨き、足りないところを学び合うとともに、共同で情報発信を行うことにより、文化や教育の関心が高い都市部住民の各自治体への移住を推進する。

1 事業内容

構成自治体（3市3町：北海道東川町、秋田県仙北市、富山県南砺市、岡山県奈義町、香川県小豆島町、豊岡市）が連携しながら、文化や教育による先端的なまちづくりの取組を進める。

【主な取組】

- (1) 本連合についてのプレスを対象とした情報発信イベント開催（7月上旬）
- (2) 本連合の概要を伝えるサイト公開（公開後、順次、取組み等を発信）
- (3) 媒体への記事広告等を通じた発信
- (4) 職員相互の交流研修の開催（年に2自治体で開催×3年間：視察及び勉強会）
- (5) 担当者会議の開催（年数回）

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,928 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（内線 32-3888）

具体的 手 段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を 楽しんでいる	30 年度 予算額	188,054 千円
------------	------------	---------------------------	--------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
42	外国人観光客プロモーション (旅行博出展・海外情報発信拠点設置等)	26,641 千円	継続
43	観光地マーケティング (外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	40,002 千円	継続
44	外国人観光客受入体制整備事業	13,474 千円	継続
45	夢但馬周遊バス運営	2,347 千円	継続
46	但馬空港利用促進	11,340 千円	継続
47	東京直行便実現	84,660 千円	継続
48	城崎温泉街交通環境改善	5,190 千円	継続
49	円山川沿線サイクリングロード整備	4,400 千円	継続
合 計		188,054 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
No.42 事業名	外国人観光客プロモーション (旅行博出展・海外情報発信拠点設置等)	30 年度 予算額 26,641 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- ターゲット市場における豊岡の認知度が高まり、外国人観光客が豊岡の観光情報を簡単かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、市を訪れる外国人観光客が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- ターゲット市場に対するインターネット広告の配信や、現地有力メディアへの売込みによる露出拡大により、豊岡市の認知率を向上させる。外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」を効率的・効果的に運用することにより、豊岡市を認知しインターネット上で情報収集している外国人観光客に対して、豊岡の魅力を的確に伝え、誘客につなげる。

1 事業内容

- (1) WEB 広告運用事業
 - ・ WEB 上での広告配信による本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」への集客
- (2) 観光レップ事業
 - ・ 海外セールスレップ（代理店：欧米豪）による現地メディアへの売込み。
- (3) ビジット・ジャパン（VJ）地方連携事業
 - ・ 海外旅行博への出展（イギリス・シンガポール）
- (4) 神鍋エリアインバウンド誘客事業
 - ・ 神鍋エリアへの観光客の通年化を図るため、タイや台湾をターゲットに誘客促進や受入環境の整備を図る。
- (5) JNTO・観光庁ネットワーク構築事業
 - ・ JNTO（日本政府観光局）や観光庁とのネットワーク構築をはじめ、インバウンドの最新動向の把握により、国との連携を図る。
- (6) 欧米豪 BtoB マーケティング事業
 - ・ 2019 年のラグビーワールドカップ開催を視野に、欧米豪市場向けに、観光レップ等と連携したメディア・旅行会社へのセールスコールを実施
 - ・ コウノトリ野生復帰やコウノトリ育むお米の生産に取り組む本市を、観光地として P R する。
- (7) インバウンド閑散期対策事業
 - ・ 本市観光の閑散期対策として、「Visit Kinosaki」の流入客を対象に、WEB 上でのキャンペーンを展開する。
- (8) 豊岡市外国語版ホームページコンテンツ制作事業
 - ・ 「Visit Kinosaki」に地域ごとのトップページを設け、各地域選出の地元情報提供者の目線から深掘した内容を盛り込みながらサイトの充実を図る。
- (9) 豊岡市外国語版ホームページ運用委託事業
 - ・ 「Visit Kinosaki」サイトの旅行業を所持した専門業者による運営
- (10) 豊岡市外国語版ホームページ管理運営事業
 - ・ 「Visit Kinosaki」サイトの保守管理等

2 事業期間

平成 25 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

26,641 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
No.43 事業名	観光地マーケティング (外国人のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	
30 年度 予算額	40,002 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 勘と経験頼みの場当たりの観光施策から脱却し、客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。

《事業目的（趣旨）》

- 観光に関する様々な客観的データ（位置情報ビッグデータ等）を取得・分析し、その結果をもとに施策を展開するとともに、施策の効果を定量的に検証する仕組みを導入する。

1 事業内容

(1) 動画マーケティング事業

- ・ ターゲティングを行ったユーザーに対し、海外の広告効果が高い媒体に配信

(2) 観光動態見える化事業

- ・ 国内観光客の位置情報ビッグデータの取得・分析

(3) 外国人観光客動向分析事業

- ・ 外国人観光客の位置情報ビッグデータの取得・分析

(4) 観光施策に係る評価指標データ収集業務

- ・ 本市が実施する観光施策を評価し、PDCA サイクルを確立するため、評価指標とするデータの収集

主要手段 A03 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）

(5) 企業人派遣・データアナリスト配置

- ・専門的な視野を持った経営人材を豊岡観光イノベーション（TTI）に派遣するとともに、データ収集・分析の専門家の配置を支援する。

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

40,002 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.44 事業名	外国人観光客受入体制整備事業	30 年度 予算額	13,474 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 本市の受入体制が構築され、外国人観光客が多く感動体験をすることで、良質な口コミが世界中に拡散している。

《事業目的（趣旨）》

- 市全体のインバウンド戦略を効果的に高めていくため実施したインバウンド受入体制整備調査に基づき、本市でしか体験できない文化（外湯体験等）や日本人とのコミュニケーションを介在させるなど、外国人観光客の満足体験を感動体験へと昇華させることで、良質な口コミの発信を促し誘客へとつなげていく。

1 事業内容

(1) インフォメーションカウンター運営委託業務

- ・城崎温泉ツーリストインフォメーション（SOZORO）を、外国人観光客の拠点施設として活用し、インフォメーション機能強化及び着地型ツアーの販売促進を行う。

(2) 外国人スタッフ配置事業（JET プログラム）

- ・CIR（国際交流員）3 名をインバウンドチームに配置し、メインターゲットの欧米豪市場を核に、インバウンド受入業務にあたる。

主要手段 A03 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）

（配置場所）

- ・城崎国際アートセンター
- ・豊岡観光イノベーション
- ・市大交流課

(3) ビクトリア大学受入事業

- ・日本語を学ぶ海外の大学生を招致し、市内観光関連施設での職場体験やホームステイ受入により、受入側のコミュニケーション能力や異文化理解の向上を図り、インバウンド対応能力のレベル向上につなげる。また、専門職大学と連携の土壌をつくる。

(4) インバウンド受入体制構築業務

- ・インバウンド受入体制の構築を図るため、地域一体となったインバウンドのおもてなし講座を実施

(5) 外国人観光案内サイン設置業務

- ・主要な観光地への英語表記を標した観光案内サインの整備

2 事業期間

平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,474 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.45	事業名	夢但馬周遊バス運営	30 年度 予算額	2,347 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡を訪れた人が、魅力的な観光地や周辺地域を周遊し、楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 但馬 3 市 2 町の各地域の観光地を運行ルートとする周遊バスを運行し、観光客の交通二次アクセスの整備・充実を図るとともに、地域の魅力をより向上させることによって観光客の周遊と観光地への誘客を促進する。

1 事業内容

(1) 名称

- ・ 夢但馬周遊バス「たじまわる」

(2) 運行ルート

- ・ 定期観光バス方式、路線バス方式により、観光地をつなぐ運行ルートを設定

（運行予定コース：市内の主な立ち寄り先）

① プレミアム

- ・ 城崎温泉、豊岡駅、コウノトリの郷公園、城下町出石

② プレミアム冬号

- ・ 城崎温泉、豊岡駅、玄武洞公園、コウノトリの郷公園、城下町出石

③ 1号海コース

- ・ 城崎温泉、城崎マリンワールド、竹野駅、竹野浜

④ 2号山コース

- ・ 城崎温泉駅、豊岡駅、神鍋高原

(3) 運行日

- ・ 土日祝日

2 事業期間

平成 28 年度～

3 事業主体

但馬観光協議会（但馬県民局内）

4 予算額（補助率・負担率等）

2,347 千円

- ・ 経費負担：兵庫県 2/3、関係市町 1/3、豊岡市負担金 2,347 千円



担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
No.46 事業名	但馬空港利用促進	30 年度 予算額 11,340 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 多くの人々がコウノトリ但馬空港を利用して来訪し、豊岡を楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 地域活性化を促す交流促進に不可欠な東京（羽田）直行便の実現に向け、豊岡の認知度向上と魅力発信を行い、東京（羽田）乗継利用に重心を置いた現路線を利用した誘客を図り、航空需要を拡大する。

1 事業内容

- ・ 豊岡市×JALプロモーションコンテンツの制作・配信
- ・ 首都圏において、豊岡を知ってもらおうと共に、コウノトリ但馬空港を利用して豊岡へ訪れていただく機会提供を運航会社との協働により実施する。

- (1)素材制作：豊岡の魅力（伝統・文化・自然）を伝える動画コンテンツの制作
 (2)宣伝：電車内ビジョン（首都圏主要路線車内）での動画コンテンツ配信
 (3)誘客：需要喚起商品の造成・販売促進



2 事業期間

平成 28 年度～平成 32 度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,340 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.47	事業名	東京直行便実現	30 年度 予算額	84,660 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 東京直行便が就航し、多くの人々が来訪し豊岡を楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 但馬－伊丹便の利用促進を図るとともに、地域活性化を促す交流促進に不可欠な東京（羽田）直行便の実現に取り組む。

1 事業内容

コウノトリ但馬空港発着の定期便を利用する市民等を対象に航空運賃の一部を助成するとともに、但馬空港推進協議会等へ積極的に参画し、コウノトリ但馬空港の利用促進を図る。また、現路線の利用率をさらに向上させることにより、本市の潜在的な航空需要を示し、東京（羽田）直行便の実現について航空会社等への働きかけを継続して実施する。

- (1) 豊岡市コウノトリ但馬空港利用促進協議会への補助金交付【67,655 千円】

【協議会で取り組む主な事業】

- ① 市民に対する航空運賃の一部助成
- ② 小学生社会見学事業での航空運賃の全額助成
- ③ 新成人記念・小学生飛行体験航空券無料引換券の交付

- (2) 但馬空港推進協議会等関係団体への負担【16,837 千円】

【内訳】

- ①但馬空港推進協議会負担金（16,779 千円）
- ②全国地域航空システム推進協議会負担金（43 千円）
- ③全国民間空港関係市町村協議会負担金（15 千円）

- (3) 東京（羽田）直行便の実現に向けた要望活動事業【168 千円】

運航事業者への要望活動

2 事業期間

平成 20 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

84,660 千円

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.48	事業名	城崎温泉街交通環境改善	30 年度 予算額	5,190 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる交通環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題になっている。
この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1 事業内容

具体的な改善策の実施に向け、協議会を中心に関係機関を含めた実行委員会を立ち上げ、施策の試験的实施によるデータ収集、分析及び検証を行う。

2 事業期

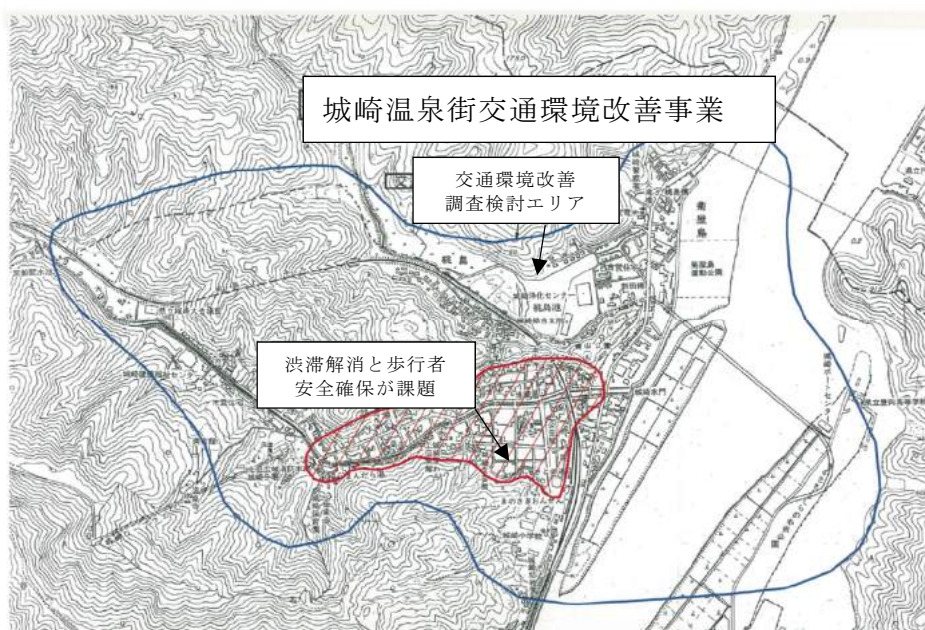
平成 27 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,190 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【建設課】（内線 2421）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.49 事業名	円山川沿線サイクリングロード整備	30 年度 予算額	4,400 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 円山川の雄大な自然を満喫しながらサイクリングを楽しむ外国人観光客がたくさんいる。

《事業目的（趣旨）》

- 円山川沿線には、城崎温泉、玄武洞、コウノトリの郷公園、出石などの多くの観光資源が存在する。
近年のインバウンドブームにより、多くの外国人観光客が豊岡を訪れていることから、円山川堤防等をサイクリングロードとして整備し、円山川の雄大な自然に触れながら観光スポットを自転車で巡っていただくことで、改めて豊岡の良さを実感していただくとともに、SNS等で世界中に発信していただく。

1 事業内容

- ・ サイクリングロード整備 全体計画 L=約 51km

河川管理道（堤防等）や県道等の一部を利用して、路面表示や案内サイン、観光案内板等を設置することにより、サイクリングロードとして整備する。

平成 30 年度 整備延長 L=7km

2 事業期間

平成 29 年度～平成 33 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,400 千円

（地方創生推進交付金 補助率：
交付対象額の 1/2）



担当課名【建設課】（内線 2421）

具体的 手 段	A 03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	30 年度 予算額	11,220 千円
------------	------------	-------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
50	コウノトリ育むお米海外販売推進	11,220 千円	拡大
再掲	(No.5) アーティスト・イン・レジデンス	(13,021 千円)	継続
合計		11,220 千円	

※再掲は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている		
No.50	事業名	コウノトリ育むお米海外 販売推進	30 年度 予算額	11,220 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により農村に子供ども達の笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 海外市場において、コウノトリ育むお米の背景にあるコウノトリ野生復帰を推進する豊岡全体の情報発信を図り、国内外に認められた真のブランド米としての確立を目指す。

1 事業内容

- (1) 海外での優位かつ安定した販売網を確立するため、ニューヨーク及びロサンゼルスで開催される「日本食レストランエキスポ（商談会）」に出展するとともに、ニューヨークの取扱店と連携した情報発信を行う。
- (2) 平成 29 年から輸出が始まった香港で販売プロモーションを展開する。
- (3) 輸出の可能性が見込まれるオーストラリアの販路を開拓するため、「Fine Food AUSTRALIA（実需者商談会）」に出展する。

2 事業期間

平成 26 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,220 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

- (1) 商談会参加費、販売イベント開催費 6,670 千円
- (2) プロモーション業務委託費 4,550 千円



日本食レストランエキスポ
（ニューヨーク）



高級スーパーでの販売プロモーション
（香港）

担当課名【農林水産課】（内線 2631）

具体的 手 段	A 03-03	国内外から優れた人材が集まり、 豊岡の魅力を高めている	30 年度 予算額	10,795 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
51	専門職大学の誘致	9,874 千円	継続
52	アーティスト・クリエイター移住促進事業	921 千円	新規
合計		10,795 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.51	事業名	専門職大学の誘致	30 年度 予算額	9,874 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 但馬地域の強みを生かし、全国や海外からも学生が呼び込める 4 年制の高等教育機関である専門職大学が設置されている。

《事業目的（趣旨）》

- 人口減少が著しい但馬地域において、地元産業界からニーズのある観光分野等における専門人材を育成する高等教育機関として専門職大学を誘致し、地域の若者の定住のみならず、全国や海外から若者を呼び込み定着を図る。

1 事業内容

兵庫県における専門職大学設置に向けた検討に対する支援を行うとともに、実習の受入れ先の調整など兵庫県のサポートを行う。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

9,874 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（内訳）

- ① アドバイザー謝礼 3,600 千円

- ② アドバイザー旅費 305 千円
- ③ 専門職大学開設準備負担金 4,767 千円
 - ・専門職大学開設準備委員会の設置
 - ・基本計画の策定に向けた調査
 - ・先行ソフト事業（キックオフシンポジウム、プレカレッジ）
- ④ 事務的経費 1,202 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.52 事業名	アーティスト・クリエイター 移住促進事業		30 年度 予算額	921 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- センスのいいまち、創造的で面白いまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

- アーティスト・クリエイターが市内に移住し、まちづくり等に関わることにより、若者が住む価値を感じるまちをつくり、もって若者のU I ターンを推進する。

1 事業内容

29 年度中に策定予定の移住促進戦略に基づき、30 年度に次の事業を実施する。

- (1) 劇団「青年団」の江原駅周辺への移転に関する協議
- (2) アーティスト・クリエイターの創作支援の細部協議
- (3) 芸大、美大等における情報発信に関する協議

2 事業期間

平成 30 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

921 千円

（内訳）

学識経験者、大学、劇団「青年団」協議等旅費 890 千円
事務費等 31 千円

（参考）

現在、以下の内容を柱としたアーティスト・クリエイター移住促進戦略を検討している。

(1) アーティスト・クリエイターが創作しやすい環境づくり

① 創作の場の確保支援

活用可能施設の紹介、市有施設提供の検討、空き店舗等開業支援補助金の紹介など

② 創作活動のサポート

ディレクターの設置による創作、出展、市内での活動等の支援など

(2) アーティスト・クリエイターが生活しやすい環境づくり

- ・ 住居、仕事（アルバイト等）、子育て支援策等に関する情報提供
ワンストップ相談窓口の設置、定住促進事業補助金の紹介など

(3) アーティスト・クリエイターへの情報発信

- ・ 豊岡市の文化芸術関係事業の紹介
芸大、美大等における説明会の開催、文化と教育の先端自治体連合（仮称）による情報発信など

担当課名【U I ターン戦略室】（内線 2306）

主要手段 A03

豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル&グローバル）

具体的 手 段	A 03-04	世界の人々と対等に向き合う人 材が増えている	30 年度 予算額	— 千円
------------	------------	---------------------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
再掲	(No.43) 観光地マーケティング (外国人のデータ収集、分析、戦略立案等)	(40,002 千円)	継続
合計		—	

※再掲の予算額は除く

具体的 手 段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知 っている	30 年度 予算額	16,232 千円
------------	------------	-------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
53	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	400 千円	継続
54	ふるさと教育推進	3,558 千円	継続
55	子どもの野生復帰	11,037 千円	継続
56	高校生 U ターン意識向上戦略	1,237 千円	継続
合計		16,232 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
No.53 事業名	おっとりっしゃ！とよおかの ものづくり	30 年度 予算額 400 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者の就職の場となり得ることが理解されている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、同行の保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となり得ることに対する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について一部補助を行う。

・「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

- ① 子どもけのものづくり体験教室
- ② 市内企業の製品・技術の紹介を行う企業展示
- ③ ものづくりへの興味を持つような特別展示等を含むイベントの開催

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間

平成 26 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

400 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.54	事業名 ふるさと教育推進	30 年度 予算額	3,558 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル＆グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

(1) ふるさと教育【3,232 千円】

現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。また、教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して作成した「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

(2) ふるさと教育の効果検証共同研究【326 千円】

平成 29 年度から市内小中学校でスタートした「ふるさと教育」のうち、コウノトリ分野において、効果検証を行い、事業改善の参考とするため、ふるさと教育効果検証アンケート調査を実施する。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,558 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

【コウノトリ共生課】（内線 2346）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.55	事業名	子どもの野生復帰	30 年度 予算額	11,037 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 自然体験によって醸成される心身の鍛錬・躍動、磨かれる感性、地域への愛着、共生の精神をより深め、地域の自然・文化・伝統を学び、豊岡のフィールドでの体験プログラムとして、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。

1 事業内容

「キッズワイルド 2018」の実施

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

(1) 実施プログラム内容

- ア 周年型体験プログラム／四季型の通年体験
- イ 単発型体験プログラム／短期集中型の体験
- ウ 保護者対象プログラム／学習活動

(2) 対 象

市内の子ども、親子、保護者

(3) 実施期間

春季以降から平成 30 年度末

2 事業期間

平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

11,037 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.56	事業名	高校生 U ターン意識向上戦略	30 年度 予算額	1,237 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内の高校生が、豊岡で暮らすことの豊かさやふるさとの価値に気づき、市内企業の仕事に魅力を感じ、将来 U ターンしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 高校時のキャリア形成において、市内企業での就職など、豊岡で暮らすことが選択肢に入るようにするため、市内高校生を対象に、市内の仕事の魅力について学び、理解を深め、U ターン意識が向上する取組みを推進する。

1 事業内容

豊岡を知ること、豊岡を好きになり、将来的な U ターン意識が向上する。そのため、「豊岡を知る」キャリア教育を市内高校に行っていく。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

【内容例】

- ・ 1 年生：①豊岡の魅力ある企業の紹介、②企業見学、③ポスター作成、④校内発表
- ・ 2 年生：①市長講話、②豊岡で働く若者との対話
- ・ 3 年生：①「飛んでるローカル豊岡」授業

2 事業期間

平成 29 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,237 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名 【エコバレー推進課】（内線 2313）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手 段	A 04-02	子どもたちが様々なコミュニティ の中で役割を果たしている	30 年度 予算額	— 千円
------------	------------	---------------------------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
再掲	(No.54) ふるさと教育推進	(3,558 千円)	継続
合 計		—	

※再掲の予算額は除く

具体的 手 段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	30 年度 予算額	50,761 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
57	コミュニケーション教育推進	1,126 千円	継続
58	英語教育推進	33,559 千円	拡大
59	英語遊び保育推進	13,926 千円	継続
60	豊岡の未来を創る高校生支援	2,150 千円	継続
合計		50,761 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.57 事業名	コミュニケーション教育推進	30 年度 予算額	1,126 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって外国人等様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・I ターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

すべての小学校 6 年生と中学校 1 年生において、演劇的な手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取り組みを行う。また、全ての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

平成 27 年度～31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,126 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.58	事業名	英語教育推進	30 年度 予算額	33,559 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる児童生徒が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 就学前及び 9 年間の系統性と連続性のある学習を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の 4 領域を確実に身につけ、中学校卒業時にはふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる力を身につける。

1 事業内容

- (1) すべての小・中学校において、豊岡市小中一貫教育の柱の一つである英語教育を実施する。

- ① 小学校 1・2 年生については「豊岡市英語カリキュラム」に則った英語教育を行う。
- ② 小学校 3～6 年生・中学校については「学習指導要領」に則った英語教育を行う。
- ③ すべての小・中学校に外国語指導助手を配置し、担任と連携した授業を行う。

- (2) サマースクール（小学校 1 年生対象：5 日間【*1 回 2 時間を 1 講座とし、最大 9 講座】）、イングリッシュサマーキャンプ（中学校 3 年生対象：3 日間）を実施する。

- (3) 豊岡市教員の英語の授業力向上を目的にした研修会を実施する。

2 事業期間

平成 28 年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

33,559 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.59 事業名	英語遊び保育推進	30 年度 予算額	13,926 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 英語遊び指導員や保育者との肯定的な関わりの下「遊びを通して、楽しみながら英語をたくさん経験する」ことにより、子どもに以下の姿を期待する。
 - (1) 外国の言葉や文化に興味を持つ子に
 - (2) 喜んで人と関わろうとする子に
 - (3) 自己肯定感を持てる子に

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア 訪問対象 市内全幼稚園・保育園・認定こども園の 4・5 歳児クラス
（但し、既に取り組まれているなどの一部の園を除く。）

イ 実施回数 年間 15 回程度
（2 週間に 1 回程度）

ウ 時 間 5 歳児・40 分、4 歳児・30 分

エ 指 導 者 英語遊び指導員 8 名（予定）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

- (2) 英語遊び研修会の実施
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
- (3) 英語遊び通信の発行
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。



英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

2 事業期間

平成 27～28 年度 6 モデル園での先行実施
平成 29 年度～ 市内の公・私立園で実施

3 事業主体 豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,926 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる			
No.60 事業名	豊岡の未来を創る高校生支援	30 年度 予算額	2,150 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 3 週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

1 事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」の取り組み（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル教育に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,150 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

5 補助の内容

- ・ 3 週間語学研修参加経費 1 人 215 千円。10 名を限度とする。
- ・ 参加経費に含まれるもの 授業料、ホームステイ料金、医療保険、アクティビティ参加費、参加証等

担当課名【こども教育課】（内線 2725 ）

具体的 手 段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼 が世界に羽ばたいている	30 年度 予算額	10,493 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	-----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
61	モンゴル交流推進	2,350 千円	継続
62	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催	8,143 千円	継続
合計		10,493 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている		
No.61	事業名	モンゴル交流推進	30 年度 予算額	2,350 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- モンゴル国との交流や市民による文化活動が盛んに行われている。

《事業目的（趣旨）》

- モンゴル国と豊岡市の交流を通して、市内中学生が相互に異文化を体験し、国際社会に対応できる人材の育成を図るとともに、市民がモンゴル文化と国際理解を深め、国際感覚を醸成する。

1 事業内容

モンゴル国から訪問団研修生（12～15 歳の研修生 6 名、成人引率者 3 名、計 9 名）を迎え受ける。受入期間は 6 日間を予定。その間に、一般家庭へのホームステイや市内中学生との交流会を行う。交流会では“お国自慢”や“学園自慢”など、両国中学生によるプレゼンテーションも実施の予定。

2 事業期間

平成 6 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,350 千円



担当課名【文化振興課】（内線 2771）
日本・モンゴル民族博物館（電話 56-1000）

戦略・手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている
No.62 事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催	30 年度 予算額 8,143 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちが育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 愛称：おんぷの祭典と題して、“世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ”を合言葉に、以下の4点の目的をもって開催する。
 - (1) 子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちを育てる。
 - (2) まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。
 - (3) 持続可能な音楽祭にするため、音楽祭の運営に当たっては、市民主導を基本に市民の皆さんで音楽祭を支える。
 - (4) 芸術を愛し育むまちとして、新たな豊岡市の魅力を創出する。

1 事業内容

(1)第5回おんぷの祭典 6月5日（火）～6月10日（日）の6日間

- ・ 出演者は、アンサンブル・ウィーン東京（4名）、弦楽チーム（4名）、管楽チーム（5名）ほか。
 - ① 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ）
 - ② 小学校訪問コンサート 4校（新田・中筋・神美・城崎）
 - ③ 中学校訪問コンサート 6校（港・豊岡南・日高東・日高西・城崎・豊岡北）
 - ④ 街角コンサート 6カ所（大人も楽しめる子どもたちのためのコンサート2カ所を含む）
 - ⑤ 有料コンサート 3カ所

(2)おんぷの祭典プレコンサート

- ・ 市内で活動する音楽家の演奏を発表できる機会の提供。出演者は公募。
- ・ 5月13日（日）・20日（日） 豊岡稽古堂市民ギャラリーで開催。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間

平成 26 年度～平成 35 年度（10 年間継続）

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

8,143 千円



担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

結婚促進・多子出産促進に係る戦略

【戦略目的B】

多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている

○ 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 結婚に至るまでの独身者に対する支援を行うとともに、様々な出会いの場や若者が集う場を提供することによって、結婚に結び付ける。
- (2) 安心して妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠から産後・育児を支え、仕事と子育てを両立できる環境を整え、理想の子どもの数を持ちたいという希望をかなえる。

次ページ以降、「戦略目的B」の戦略体系に基づく平成30年度地方創生取組を掲載

具体的 手 段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	30 年度 予算額	8,878 千円
------------	------------	--------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
1	婚活応援プロジェクト「はーとピー」・結婚相談所への補助	8,278 千円	拡大
2	民間団体への婚活・恋活イベント開催補助	600 千円	継続
合計		8,878 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している
No.1 事業名	婚活応援プロジェクト「はーとピー」・結婚相談所への補助	30 年度 予算額 8,278 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
(公的団体(社会福祉協議会)による世話やきの充実)

《事業目的（趣旨）》

- 社会福祉協議会が実施する婚活応援プロジェクト「はーとピー」(婚活イベント)の事業費の全額及び結婚相談所(Hapimari)事業費の一部に補助し、結婚を促進する。

1 事業内容

(1) 「はーとピー」の実施、拡充

- ① 年間 12 回の婚活イベントを実施(継続)
- ② 「はーとピー」HP のスマホ対応(新規)



はーとピーHP トップ

(2) 結婚相談所の機能拡充

- ① 成婚した場合、担当相談員に報奨金支給(継続)
- ② 会員増に向けて、会員限定の婚活イベントを年 4 回開催(新規)
- ③ 相談員の先進地視察研修により、スキルを向上(新規)

2 事業期間

平成 25 年度～

3 事業主体

豊岡市社会福祉協議会



Hapimari HP から

4 予算額（補助率・負担率等）

6,375 千円

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（内訳）

- | | |
|-----------------------|----------|
| (1) 「はーとピー」 補助 | 6,375 千円 |
| (2) 結婚相談所補助 | 1,863 千円 |
| (3) 先進地視察研修の市職員随行（旅費） | 40 千円 |

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）

戦略・手段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している			
No.2	事業名	民間団体への婚活・恋活イベント補助	30 年度 予算額	600 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（民間団体による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 民間団体が主催する婚活・恋活イベントへの補助制度によってイベント開催を促進し、独身男女の多様な出会い機会を創出する。

1 事業内容

平成 28 年度に制定した「出会い機会創出事業補助金」により、民間団体主催の婚活イベントに補助する。

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (1) 対 象 者 | 市内の団体、実行委員会等 |
| (2) 対象経費 | 開催に必要な経費（飲食費、人件費等を除く） |
| (3) 補 助 率 | 10/10 |
| (4) 上 限 額 | 100 千円 |

※平成 29 年度 5 件実施、カップル成立数 12 組。

※平成 28 年度に補助したイベント実施団体から成婚報告 1 件あり。

主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

- 2 事業期間
平成 28 年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額
600 千円



H29 婚活イベント風景

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）

具体的 手 段	B 01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	30 年度 予算額	1,267 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
再掲	(No.1) 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	(8,278 千円)	拡大
3	ボランティア仲人養成	1,267 千円	拡大
合計		1,267 千円	

※再掲は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.3	事業名	ボランティア仲人養成	30 年度 予算額	1,267 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
(市民による世話やきの充実)

《事業目的（趣旨）》

- 一般市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

ボランティア仲人を養成し、活動を支援する。

(1) 「縁むすびさん」制度の流れ

- ① 縁むすびさんの登録 (公募してセミナー受講)
- ② 婚希望者に声かけ (匿名プロフィールの作成)
- ③ 相手探し (月に一度の情報交換会)
- ④ 見合いのセッティング (引き合わせ)
- ⑤ 交際サポート (成婚したら3万円のお礼)

(2) 平成30年度の特徴

引き合わせを促進するため、1件ごとに1,000円の報奨金を追加支給する。

主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

※平成 29 年度の実績（2/14 現在）

- ① 縁むすびさん 105 人（男性 38 人、女性 67 人）
- ② 登録結婚希望者 77 人（男性 49 人、女性 28 人）
- ③ 引き合わせ数 延べ 30 回
- ④ 交際発展 15 組
- ⑤ 成婚数（婚約数） 1 組

2 事業期間 平成 29 年度～

3 事業主体 豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
1,267 千円



縁むすびさんロゴマーク

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）

具体的 手 段	B 01-03	若者が集い、交流する場が増えている	30 年度 予算額	1,200 千円
------------	------------	-------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
4	SNS を活用した出会いにつながる情報発信	1,200 千円	継続
合計		1,200 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 01-03	若者が集い、交流する場が増えている		
No.4 事業名	SNS を活用した出会いにつながる情報発信	30 年度 予算額	1,200 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のあちこちに若者が集まる交流が生まれ、出会いが生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者たちが出かけて交流できる情報を SNS (Social Networking Service) で配信し、出会いのきっかけにつなげる。

1 事業内容

市内にある既存のスポットや事業を「出会いにつながる情報」として動画や画像で撮影し、SNS「ツッカケ」で配信する。平成 30 年度からは、豊岡で暮らす若者たちも情報発信の一翼を担う。

【使用する SNS】

LINE、フェイスブック、インスタグラム

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,200 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

SNS「ツッカケ」とは？

「“around25 歳”に向けたアフター5 や休日の楽しみ方」をコンセプトに、若者が交流する様子を動画や画像で配信する。現在、神鍋アクティビティ、スポーツ施設、映画館などを配信中。仕事帰りや休日に、気軽に出かけて交流してもらうことを狙う。

【平成 29 年 1 月末時点】登録者(フォロワー数)529 人、最大リーチ数 3,982 人



担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）

具体的 手 段	B 02-01	出産への応援がある	30 年度 予算額	25,781 千円
------------	------------	-----------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
5	子育て世代包括支援センター	1,258 千円	継続
6	産前・産後サポート事業	2,153 千円	継続
7	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	4,170 千円	継続
8	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	18,200 千円	継続
合計		25,781 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある			
No.5	事業名	子育て世代包括支援センタ	30 年度 予算額	1,258 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 出産・子育てに関する不安、リスクを抱える子育て世代が増加しており、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を整える必要がある。このため、「子育て世代包括支援センター」による相談体制の強化とサービス導入による支援施策の充実を図る。
また、児童虐待など不適切な養育状態にある家庭の養育環境の改善を図るための専門的な相談・支援等を行う。

1 事業内容

保健師等の専門職により、すべての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを策定することにより、妊産婦に対してきめ細かい支援を実施する。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

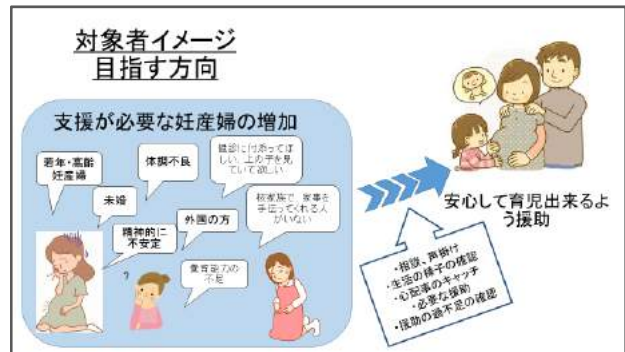
豐岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,258 円

(国補助率 基準額の 1/3)

(県補助率 基準額の 1/3)



担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある			
No.6	事業名	産前・産後サポート事業	30年度 予算額	2,153 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 出産・子育てに関する悩み等に対して、保健師等の専門職が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行う。また、サポーター(ヘルパー)が家事・育児援助等を実施することにより精神及び身体の負担の軽減を図る。

あわせて地域の母親同士の仲間づくりを促し、妊産婦の家庭や地域での孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

- (1) 保健師等の専門職が妊産婦の居宅を訪問し、育児手技の確認および支援、不安や悩みに対しての相談を受ける。
- (2) サポーター（ヘルパー）が家事・育児援助等を実施する。
- (3) 妊産婦同士の仲間づくりを目的として、複数の妊婦や親子が参加する教室で、相談やグループワークを実施する。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豐岡市

《参加型教室案内チラシ》



4 予算額（補助率・負担率等）

2,153 円

（国補助率 基準額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある			
No.7	事業名	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	30 年度 予算額	4,170 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 父母、配偶者、パートナー等から十分な産後の育児支援が受けられない者の心身の安定を図るために、育児不安を解消し、産後も安心して子育てが出来る環境を整備し、安心して産後を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

助産師等の専門職が母親の身体的な回復のための支援、授乳の指導及び乳房のケア、母親の不安の相談、新生児及び乳児の状況に応じた具体的な育児指導を行い不安や悩みの軽減を図る。

- ・ 宿泊型委託先：公立豊岡病院、公立八鹿病院
- ・ 訪問型委託先：在宅助産師

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,170 円

（国補助率 基準額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある			
No.8	事業名	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	30年度 予算額	18,200 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 出産を支える仕組みが整うことにより、出生数が増加し、夫婦一組あたりの子どもの数が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 地方創生の一環として、「特定不妊治療費助成事業」及び「不育症治療費助成事業」を実施し、子どもを産みやすい環境を整備し、人口減少対策につなげる。

1 事業内容

(1) 特定不妊治療費助成事業

県の助成制度に市独自の助成金を上乗せする。助成回数、助成可能年齢は県の制度に準じ、上限額 1 回あたり 20 万円。

(2) 不育症治療費助成事業

不育症の検査や治療にかかる医療費に対する助成を行う。

2 事業期間

平成 28 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

18,200 千円（不育症治療支援事業費補助金 補助率：補助対象額の 1/2）

（内訳）

(1) 特定不妊治療費助成事業 18,000 千円

(2) 不育症治療費助成事業 200 千円（県補助 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的 手 段	B 02-02	育児への応援がある	30 年度 予算額	1,077 千円
------------	------------	-----------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
再掲	(No.5) 子育て世代包括支援センター	(1,258 千円)	継続
9	ファミリーサポートセンター	1,077 千円	継続
合計		1,077 千円	

※再掲は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-02	育児への応援がある			
No.9	事業名	ファミリーサポートセンター	30 年度 予算額	1,077 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者と、支援を行いたい者の会員組織である。
市が事務局となり、保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織を設置し、会員同士の相互援助活動を円滑に図れるよう、専任のアドバイザーを配置して、会員募集・登録、会員のマッチング、会員研修、会員交流事業などを行う。

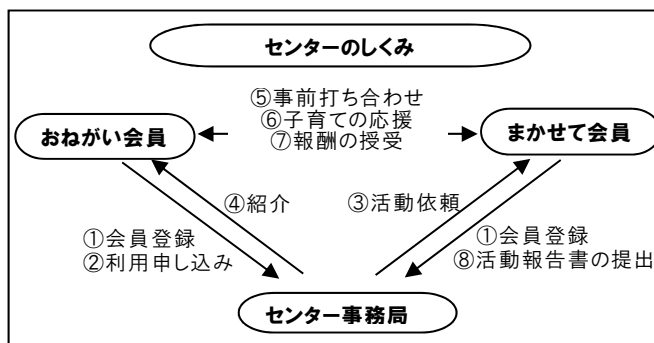
2 事業期間

平成 29 年度～

平成 29 年 4 月にセンター設立後、会員募集、会員研修を円滑に進め、同年 7 月から相互援助活動を開始している。会員数は、64 人（平成 30 年 1 月 19 日現在）。平成 30 年度は会員数 100 人を目標とし、加えて相互援助活動の活発化も促していく。

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
1,077 千円
(国補助率 基準額の 1/3)
(県補助率 基準額の 1/3)



担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手 段	B 02-03	仕事の両立への応援がある	30 年度 予算額	— 千円
------------	------------	--------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
再掲	(No.9) ファミリーサポートセンター	(1,077 千円)	継続
合計		—	

※再掲は合計から除く

具体的 手 段	B 02-04	パートナーの応援（理解と協働）が ある	30 年度 予算額	12,829 千円
------------	------------	------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
10	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか	12,829 千円	継続
合計		12,829 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-04	まちを挙げた子育てへの応援がある
No.10 事業名	子育てセンターの交流事業 「パパとあそぼうデー」ほか	30 年度 予算額 12,829 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 夫婦が子育てを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 子育てセンターで子育てに関する相談支援や親子が交流できる機会の提供などを行い、子育てにかかる不安感、負担感を軽減し、子育て家庭が子育ての楽しさを実感できるようにする。

1 事業内容

子育てセンターで、親子の交流のほか、親子で遊べる場の常設、相談支援、情報提供、学習機会（子育て講座等）の提供など子育てに関する様々な事業を行う。交流事業では、父親と子どものふれあいの機会を提供するため「パパとあそぼうデー」など、父親が参加しやすい事業も実施する。

＜内容＞

親子で自由にいつでも遊べる広場の常設、登録制による親子の交流事業、子育て講座（運動遊び、絵本、食育など）、子育て相談（常時）など

2 事業期間

平成 17 年度～

3 事業主体

豊岡市



パパとあそぼうデーの様子

4 予算額（補助率・負担率等）

12,829 千円

（国補助率 基準額の 1/3）

（県補助率 基準額の 1/3）



子育て総合センターの常設の広場「ふれあい広

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

具体的 手 段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	30 年度 予算額	8,373 千円
------------	------------	------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
11	子育て広場整備	7,106 千円	継続
12	F M ジャングル夢チャレンジ	810 千円	継続
13	子育てママの活躍機会促進事業	457 千円	新規
合計		8,373 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.11	事業名	子育て広場整備	30 年度 予算額	7,106 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

○小さな子も安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育て世代を身近に感じることで、応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

○市内 6 地域に 1 か所ずつ子育て広場を整備し、利用促進を図るとともに、子育て応援の機運を高める。

※豊岡（本庁舎前）、城崎（駅通り公園）、日高（町民広場）は平成 29 年度に開設済み。

※竹野、出石、但東は、平成 29 年度振興局敷地内で基盤整備、苗の植えつけを終え、平成 30 年度に防護柵の設置を行う。

1 事業内容

- (1) 竹野子育て広場（竹野庁舎前）
 - ・ 防護柵設置工事
- (2) 出石子育て広場（出石庁舎前）
 - ・ 防護柵設置工事
 - ・ 辰鼓楼東側堀転落防止柵設置工事
- (3) 但東子育て広場（但東庁舎前）
 - ・ 防護柵設置工事
 - ・ コンクリート擁壁緩衝材設置工事

・ 3 地域の子育て広場は、7 月頃にオープン予定

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

(4) 共通

- ・ 補植用苗・肥料代、維持管理手数料
- ・ 案内冊子の作成

※苗の植えつけ及び維持管理は、住民主体の実行委員会が行う。

2 事業期間

平成 29 年度～平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市



豊岡子育て広場のオープニング

4 予算額（補助率・負担率等）

7,106 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある			
No.12 事業名	FM ジングル夢チャレンジ	30 年度 予算額	810 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが夢を持ち、夢の実現に挑戦している。

《事業目的（趣旨）》

- 児童・生徒が夢や頑張っていることを広く市民に発信することで、自尊感情が高められるとともに、応援されることで自己肯定感が育まれる。

1 事業内容

なりたい自分になるため（「夢実現力」）に頑張っている子どもの様子を FM ジングルの市政情報提供番組で取材し、放送（15 分番組：本放送毎週 1 回・再放送毎週 2 回）を行う。

2 事業期間

平成 20 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

810 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある			
No.13	事業名	子育てママの活躍機会促進事業	30 年度 予算額	457 千円	新規

《目指す将来像（姿）》

- 子育て中のママと子どもたちの活躍の場が増え、地域で子育てをポジティブにとらえる人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 地域におけるママと赤ちゃんの「役割」や「活躍の場」を開拓するきっかけとして、「NPO 法人ママの働き方応援隊(通称：ママハタ)」の派遣の場を創出する。

1 事業内容

ママハタの但馬の活動拠点である「但馬校(養父市に H27. 12 開設)」、サテライトの「豊岡奈佐学級(H29. 5 開設)」と連携して「赤ちゃん先生クラス」を開催する。また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして派遣する。

〈参考〉

- ・ NPO 法人ママの働き方応援隊(H19 年設立、本部：神戸市)
「子育て中がメリットになる働き方を創る」をミッションに全国に活動を広める。
- ・ 赤ちゃん先生クラス
赤ちゃんを連れたママ講師が教育機関や高齢者施設などを訪問し、「学び」や「ふれあい」の授業を行う。ママ講師には謝礼が支給され、「仕事」として役割と責任を持つ。

2 事業期間

平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

457 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



豊岡奈佐学級による「赤ちゃん先生クラス」
開催の様子 (H29.10 港中学校)

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）